

KUMAMOTO CLINICAL TRAINING
HOSPITAL GUIDE BOOK

RESIDENT

熊本県臨床研修病院パンフレット [レジデント]

熊本が照らす
医療の未来。



©2010 熊本県くまモン

RESIDENT



熊本の医療機関・行政・地域が連携。
ALL KUMAMOTOで、
医師のみなさんを応援します。

国内でも有数の医療機関数、医師数を誇る熊本。
熊本大学病院をはじめとした基幹型臨床研修病院、
協力型臨床研修病院・研修協力施設が
各地域に数多く存在しています。
また、県では臨床研修の研修環境等の充実を図るため、
指導医の確保に向けた取り組みを実施しています。
さらに、地域医療を学ぶ、県独自のプログラムの設置や
女性医師等の支援体制の整備など、
県ぐるみで優れた医療人の育成に力を入れています。
研修医一人一人を「ALL KUMAMOTO」で厚く、
温かくバックアップする熊本の地で、
医師としての第一歩を歩まれることを心からお待ちしています。

熊本が照らす
医療の未来。

RESIDENT

熊本県臨床研修病院パンフレット[レジデント]

3 臨床研修医 満足度アンケート

5 臨床研修病院一覧

- 熊本県内の臨床研修病院マップ
- 基幹型臨床研修病院の主な指定状況（建制順及び50音順）

7	熊本市	くまもと森都総合病院
9		熊本市市民病院
11		熊本赤十字病院
13		熊本大学病院
15		熊本中央病院
17		済生会熊本病院
19		熊本医療センター
21	八代市	熊本総合病院
23		熊本労災病院
25	人吉市	人吉医療センター
27	水俣市	国保水俣市立総合医療センター
29	荒尾市	有明医療センター
31	玉名市	くまもと県北病院
33	天草市	天草地域医療センター

35 協力型臨床研修病院
研修協力施設一覧

数字で分かる

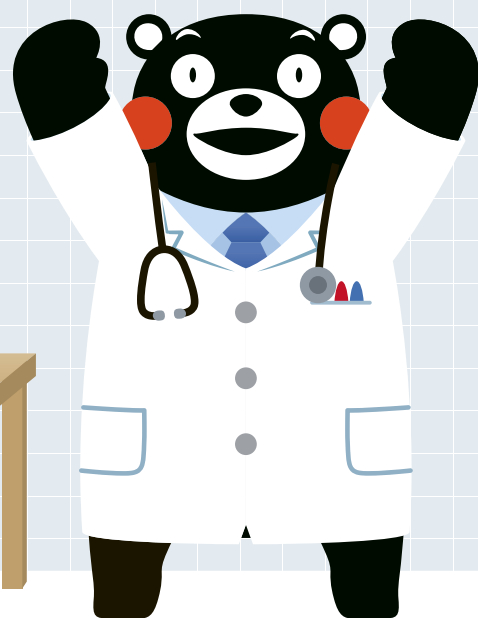
臨床研修医 満足度アンケート

恒例となった臨床研修医向けのアンケート。

熊本県内で働く研修医106名が回答してくれました。

熊本県における臨床研修のリアルな声を参考にしてください。

熊本の研修体制の満足度は
何パーセント？



H.26 満足度
88.3%

H.27 満足度
93.0%

アンケート初年度は研修医の数も比較的少なく、90%を下回る結果に。

H.28 満足度
90.3%

H.29 満足度
94.9%

未曾有の災害に直面した研修医。体験からの学びも多かった。

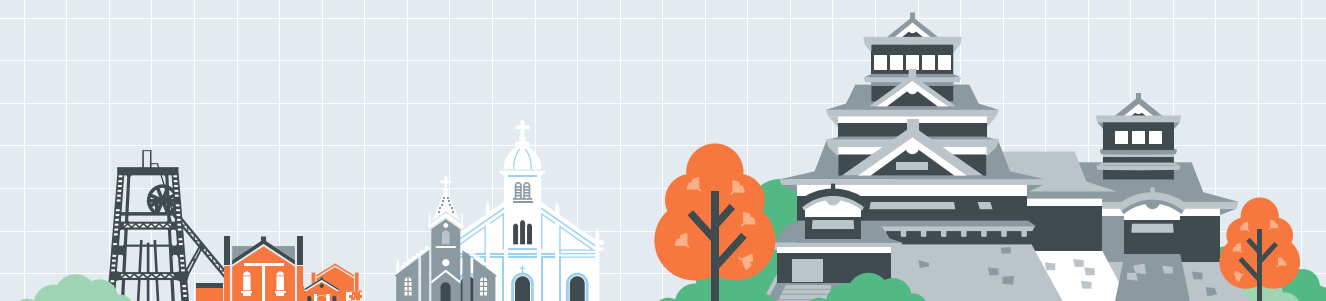
H.30 満足度
96.7%

熊本ならではの災害医療や自由度の高さなどが改めて注目される。

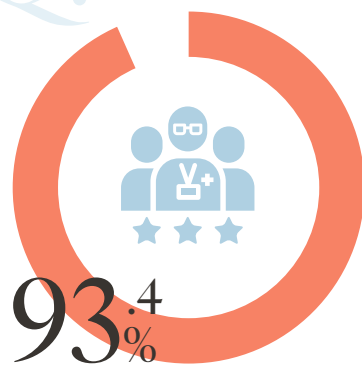
R.1 満足度
98.9%

R.7 満足度
98.1%

引き続き90%以上をキープ!!
回答者のうち約6割が熊本大学出身者。県内、県外からバランス良く人が集まり、多くの研修医が満足している結果がわかりました。

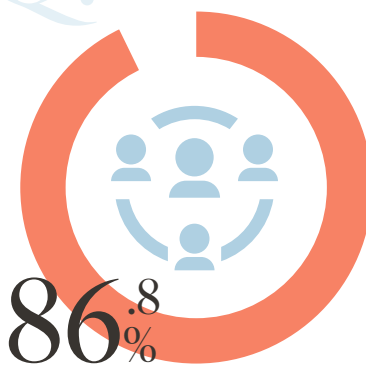


指導医の指導の質や能力



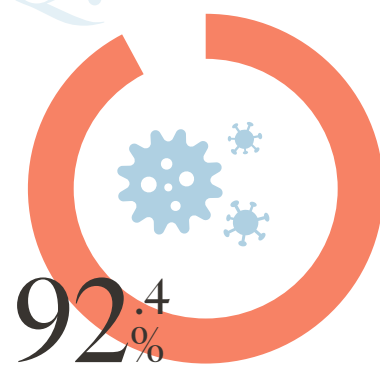
「熊本には熱意溢れる指導医が多い」との声も聞かれるように、指導医に対しては満足度が高い結果に。お手本として学びたい上級医も多いようです。

指導医の人数や配置



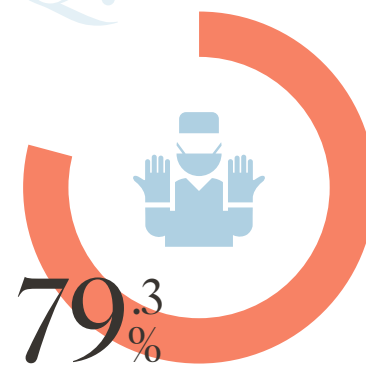
日々の業務の中での研修。担当指導医だけでなく科を超えて指導する体制も取られているようです。業務の忙しさに対して人が少ない科もあるとの声も。

経験できる症例の豊富さ



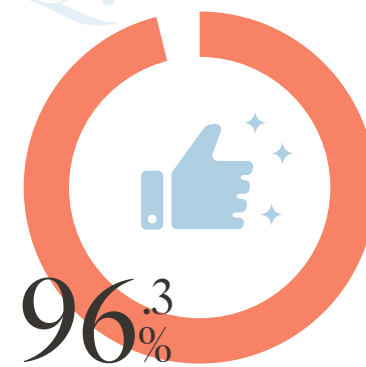
熊本市内、市外問わず、全体的に満足しているという結果に。満足していない理由として「科によって症例の偏りが大きい」など選んだ進路による所も。

技術や知識の修得状況



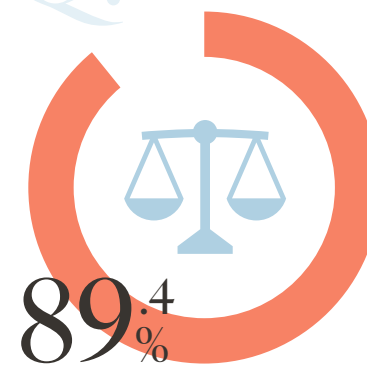
実践できる手技が多い研修病院ほど、満足度が高い傾向に。一方で、経験できる手技が少ない、業務的なことしかできない科がある、などを指摘する声も。

後輩医師へのオススメ度



「熊本で働くならぜひ勧めたい」「人が優しい」「研修とプライベートの両立がしやすい」「大病院も地域の病院も充実している」などの声が挙がりました。

ワークライフバランス



全般的には満足の声が多いものの、忙しさを感じている人も。当直の回数や時間は病院によって異なるため、自分のペースと合う病院かを検討することが必要。

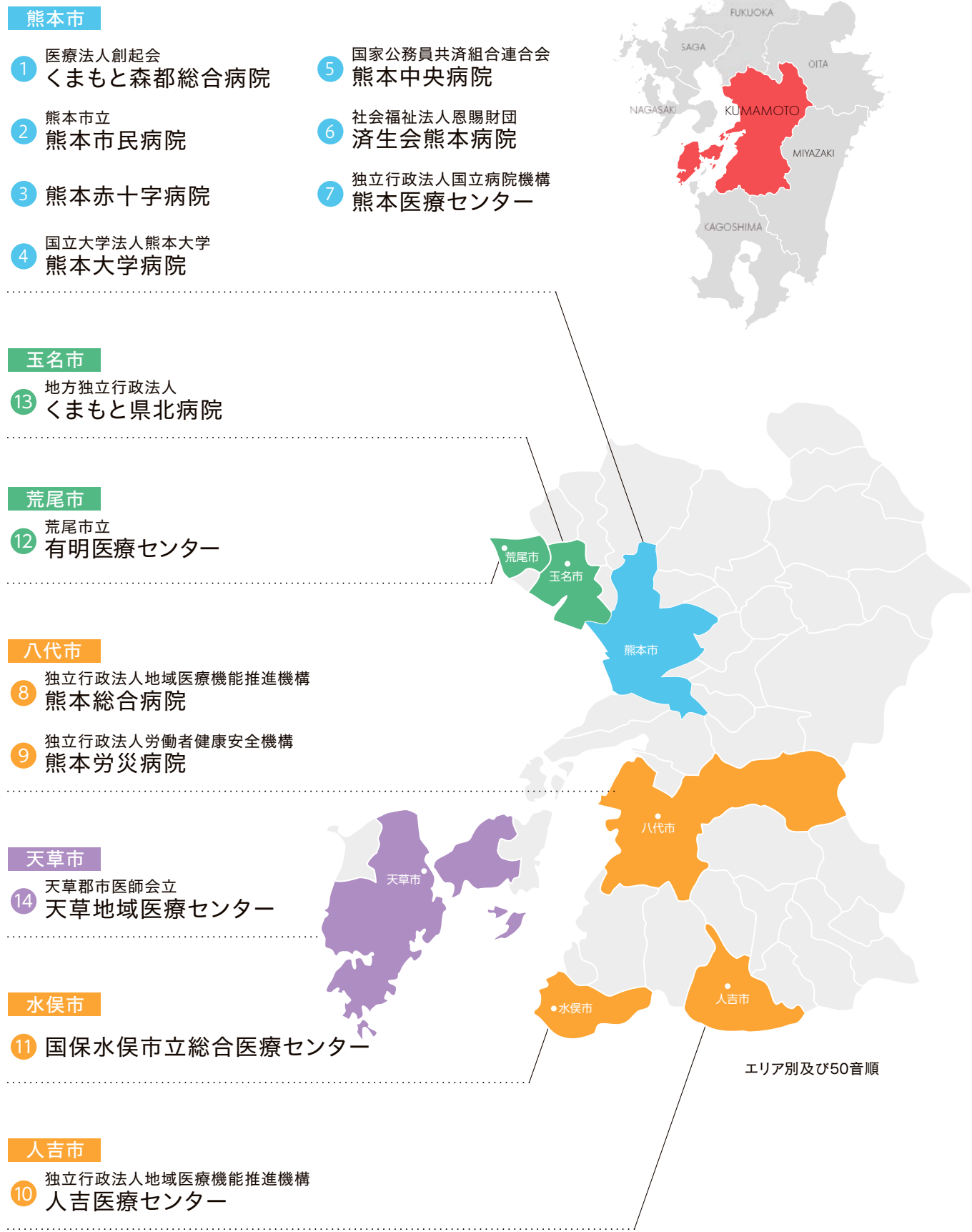
HOSPITAL MAP

熊本県内の臨床研修病院マップ

CLINICAL TRAINING HOSPITAL LIST

基幹型臨床研修病院の主な指定状況(建制順及び50音順)

令和7年1月1日現在



二次保健医療圏	熊 本							八 代		人 吉	水 俣	有 明		天 草
	中央区	東区	東区	中央区	南区	南区	中央区	八代市	八代市	人吉市	水俣市	荒尾市	玉名市	天草市
医療機関名	くまもと森都総合病院	熊本市立熊本市民病院	熊本赤十字病院	熊本大学病院	熊本中央病院	済生会熊本病院	熊本医療センター	熊本総合病院	熊本労災病院	人吉医療センター	国保水俣市立総合医療センター	荒尾市立有明医療センター	くまもと県北病院	天草地域医療センター
運営主体	医療法人	自治体立	赤十字	国立大学法人	国共済連	恩賜財団	国病機構	地域医療機能推進機構	労健安機構	地域医療機能推進機構	自治体立	自治体立	地方独立行政法人	医師会立
地域医療支援病院		●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
脳卒中 急性期拠点病院		●	●	●		●	●	●	●	●	●	●		●
心血管疾患 急性期拠点病院		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
心血管疾患 回復期医療機関	●		●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●
がん診療連携拠点病院 国指定			●	●		●	●		●	●		●		
がん診療連携拠点病院 県指定	●	●			●			●			●		●	●
糖尿病 認定教育施設		●		●	●	●	●	●	●		●	●	●	●
糖尿病 専門医勤務(変動あり)		●		●	●	●	●	●	●		●	●	●	●
精神科 精神科病床がある病院				●			●							
災害医療 基幹災害拠点病院			●											
災害医療 地域災害拠点病院						●	●		●	●	●	●	●	
災害医療 DMAT指定病院 ※1			●5	●2		●5	●4		●3	●2	●2	●1	●3	
救急医療 三次救急対応医療機関 ※2 (救命救急センター又は高次)			●	●		●	●							
救急医療 二次救急対応医療機関 (輪番制・救急告示)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
小児医療 小児救命救急センター			●											
小児医療 小児科医3名以上勤務		●	●	●	●		●		●	●	●		●	●
周産期 総合周産期母子医療センター		●		●										
周産期 地域周産期母子医療センター			●											
周産期 地域周産期(産科)中核病院							●	※3	●	●		●		

※1 数字はDMATのチーム数
※2 三次救急対応医療機関:救命救急センターの3施設(熊本赤十字病院、熊本医療センター、済生会熊本病院)及び熊本大学病院
※3 手続き中

医師としての人格を涵養し病気や病態に適切に対応できる診察能力を身につける

医療法人創起会 くまもと森都総合病院



標榜科

内科、肝臓・消化器内科、血液内科、呼吸器内科、代謝・内分泌内科、循環器内科、腎臓内科、人工透析内科、
リウマチ膠原病内科、腫瘍内科、リハビリテーション科、外科、整形外科、乳腺外科、放射線科、皮膚科、産婦人科、眼科、
麻酔科、臨床検査科、病理診断科、歯科口腔外科

2024年度現在の医師数

医師数 DOCTOR	38名	研修医数 INTERN	2名
指導医数 ADVISOR	14名	病床数 SICKBED	199床※

※病床数199床のうち、急性期一般154床、地域包括ケア30床、緩和ケア15床

伝統的に、診療・教育双方に力を入れる総合病院

当院は企業立病院として90年の歴史を刻み、平成23年には民間の医療法人として経営を独立、2012年7月1日に「医療法人創起会くまもと森都総合病院」と改称しました。独立前の準公的病院時代から各診療科に専門医、熊本大学臨床教授を配置しており、診療のみでなく教育にも力を入れています。また、2017年4月1日には新病院に移転し、運営しています。真新しくキレイな病院で学べることも、大切な研修期間を過ごす上で大きな魅力です。

専門的治療と一般診療の両方を経験することができる環境

当院は、熊本市の中心部に位置している中規模な急性期の総合病院であり、当院と研修協力病院及び研修協力施設における2年間の研修期間に、必修7科目及び選択科目で構成する研修内容としており、厚生労働省が定めた臨床研修到達目標の達成を最重要視した研修プログラムです。募集人員が2名という規模ではありますが、研修においては内科系・外科系の枠を越え、全指導医・上級医が深く関係しつつ柔軟な研修環境を確保するとともに、当院の特徴である「診療科間の垣根の無い環境での研修」を活かし、研修医の皆様に充実した研修を提供いたします。総合病院として6専門内科（血液、肝臓・消化器、循環器、腎臓、リウマチ膠原病、総合診療科）、外科、乳腺外科、整形外科、皮膚科、眼科、婦人科、麻酔科、放射線科、病理診断科に常勤医を揃えており、これらの診療科が密に連携して日々の診療にあたっています。各診療科は専門医療も提供していますが、地域に根差した病院として一般診療も行っているため、研修では専門的治療と一般診療の両方を経験することができます。また、診療科選択に際して、複数の科にまたがって研修を行うことも可能で、研修医の希望、やる気を尊重して、個々に柔軟なプログラムを作成するようにしています。

指導医からのコメント

くまもと森都総合病院
リウマチ膠原病内科
部長

高岡 宏和
Hirokazu Takaoka



当院では、“量より質”の指導を目指しており、自分のペースで研修できるのが魅力です。週1回の研修医ミーティングで個々の到達度を話し合うなど、指導も手厚く、温かいです。さらに、学会発表や研究会参加も促しています。個々にあったプログラムで深い研修を行いたい人は、ぜひ当院と一緒に頑張りましょう！

2025年度臨床研修プログラム

■臨床研修 週間スケジュール(例)

1年次：診察科目／内科(血液)

曜日	月	火	水	木	金
午前	病棟研修	外来研修	病棟研修	内視鏡・超音波	病棟研修
午後	病棟研修		病棟症例カンファレンス	病棟研修	

■臨床研修 年間スケジュール

1年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	麻酔科	内科					小児科	内科	救急			内科
場所	くまもと森都総合病院						熊本労災病院	くまもと森都総合病院	荒尾市立有明医療センター			くまもと森都総合病院

2年次

期間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	専門診療科選択		地域医療	精神科	外科			産婦人科	産科	専門診療科選択		
場所	くまもと森都総合病院		そよう病院	くまもと青明病院	くまもと森都総合病院			福田病院	くまもと森都総合病院			

専門研修プログラム

新専門医制度では、連携施設として複数のプログラムに参加しています。



研修医募集要項

応募資格	①第120回(2026年2月実施予定)医師国家試験を受験する者、又は、2024年度末までに医師免許を取得した者で初期臨床研修未実施の者 ②医師臨床研修マッチングプログラムに参加する者
応募締切	7月中旬予定(詳細は病院ホームページにて発表)
試験日程	8月上旬予定(詳細は病院ホームページにて発表)
試験内容	書類審査、面接試験、小論文
給料	1年次 月額／390,000円 2年次 月額／410,000円
諸手当	時間外手当、休日手当、通勤費
年次有給休暇	有(1年次:20日、2年次:20日)
宿舍	無(但し、賃貸住宅手当:30,000円/月)
保険	雇用保険、NTT健康保険組合、厚生年金
医師賠償責任保険	病院加入有
当直回数	1回程度/月

所在地 〒862-8655 熊本市中央区大江3丁目2番65号
担当部署 総務課／臨床研修医担当
TEL 096-364-9760(直通)
FAX 096-362-5204
E-mail soumuka@k-shinto.or.jp
URL www.k-shinto.or.jp

募集要項の最新情報は
ホームページをご覧ください。
www.k-shinto.or.jp/medical/recruit/



市民の生命と健康を守るために、安全で良質な医療を提供します

熊本市立 熊本市市民病院



標榜科

【外科系部門】消化器外科、乳腺・内分泌外科、呼吸器外科、婦人科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科
 【小児・周産期医療部門】新生児内科、小児科、小児循環器内科、小児心臓外科、小児外科、産科
 【内科系部門】脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、血液・腫瘍内科、腎臓内科、代謝内科、感染症内科、精神科
 【中央診療部門】放射線科、麻酔科、救急科、病理診断科、リハビリテーション科

2024年度現在の医師数

 医師数 DOCTOR	117名	 研修医数 INTERN	15名
 指導医数 ADVISOR	39名	 病床数 SICKBED	388床

2023年実績

 1日平均 外来患者数	477.6人
 1日平均 入院患者数	353.3人
 年間 手術件数	4,893件

プライマリ・ケアから専門的な医療まで研修できる

2019年10月に全館免震構造として再建され、災害に強い病院として生まれ変わりました。31の診療科を有する急性期総合病院として、小児・周産期、救急、急性期、感染症・災害医療などの政策医療に対応し、新型コロナウイルス感染症でも重要な役割を果たしました。救急車の受け入れ数は2023年に6500件を超え、プライマリ・ケアから高度医療まで幅広く研修できます。勉強会や学術発表、論文作成など、研修医を手厚くサポートしています。

豊富な診療科と専門医による充実した幅広い研修環境が整備

実践的なプライマリ・ケアを習得できるように、一般的な診療で頻繁に関わる負傷や疾病に適切に対応できる基本的診療能力（基本的姿勢・態度、知識、手技）を身につけることを目的としています。多くの専門医・指導医を有する急性期総合病院であることから、一般診療において幅広い研修ができるだけでなく、専門的かつ高度の医療まで学べる環境にあります。幅広い救急患者を救急医の指導のもと研修することができ、実践的な手技の習得を指導します。内科では、呼吸器、循環器、消化器、血液・腫瘍、脳神経、感染症、腎臓、代謝の各専門科をローテートします。2年目の選択期間研修では多くの診療科の中から自由に選択が可能です。周産期母子医療センターでは、超低出生体重児、心疾患等の他科合併症を有する児、異常妊娠・分娩・合併症妊娠の母体を県内外から多数受け入れており、小児・周産期医療領域の研修は当院の特徴のひとつです。総合医局に全ての医師が集まっており、アットホームな雰囲気、いつでもどこでも気軽に相談、質問ができるのも当院の魅力です。

指導医からのコメント

熊本市市民病院
副院長

藤井 一彦
Kazuhiko Fujii



2020年4月に臨床研修を再開し、当初4名だった研修医は現在毎年8～10名が第一歩を踏み出しています。不安を抱えて始めた研修も、終了時には「基本的な処置はできます」と自信を持ち専門分野に進む姿が頼もしいです。当院は多くの診療科とアットホームな雰囲気が特徴で、後期研修では熊本大学他、4つの大学病院群の新専門医プログラムを実施しています。4月から一緒に楽しく学びましょう！

2025年度臨床研修プログラム

プログラム
最新情報は
コチラ



■臨床研修 年間スケジュール(例)

1年次

熊本市市民病院基幹型プログラムA(基本コース)、熊本市市民病院基幹型プログラムB(プライマリ・ケアコース)共通

週	2～3週	24週	12週	4週	4週	4週
分野	オリエンテーション	内科	救急(麻酔)	外科	小児科	産婦人科
場所	熊本市市民病院					

2年次

熊本市市民病院基幹型プログラムA(基本コース)

週	4週	4週	45～46週
分野	精神科	地域医療	選択
場所	協力型病院	協力型施設	熊本市市民病院

熊本市市民病院基幹型プログラムB(プライマリ・ケアコース)

週	4週	12～24週	25～38週
分野	精神科	地域医療	選択
場所	協力型病院	協力型病院	熊本市市民病院

※オリエンテーションは研修開始の診療科に含める。
 ※外来研修は、総合内科外来、一般外科外来、小児科外来、地域医療で4W以上研修する。
 ※救急科12週は麻酔科4週を含む。
 ※選択研修は1年次に行うことも可能。(4週のみ、1月～3月の期間)
 ※精神科は益城病院もしくは弓削病院で研修。(A・Bプログラム共通)
 ※地域医療はさよう病院(プログラムA)、天草地域医療センター(プログラムB)、上天草総合病院(プログラムB)で研修。

専門研修 プログラム

新専門医制度では、連携施設として複数のプログラムに参加しています。



研修医募集要項

応募資格	①2026年実施予定の医師国家試験を受験する者 ②全国マッチング・プログラムに参加する者
応募締切	2025年7月中旬予定(決定次第当院ホームページに掲載します。)
試験日程	2025年8月上旬予定(決定次第当院ホームページに掲載します。)
試験内容	書類審査及び面接試験
給料	1年次 月額／約340,000円 2年次 月額／約350,000円 ※月額手当(67,741円)を含む。
諸手当	賞与(年2回 支給額合計：1年次約800,000円、2年次約1,300,000円)、 通勤手当、時間外/休日勤務手当、 休日深夜等の緊急手術等手当(3,000円/回)等
年次有給休暇	初年度年間10日(次年度は11日)、夏季休暇(3日)、病気休暇、子の看護休暇等
宿舎	無
加入する保険等	地方公務員共済組合連合会、厚生年金保険、労働者災害補償保険法、 雇用保険の適用有
医師賠償責任保険	有(病院で加入)
当直の回数	約3回/月 ※時間外勤務手当
研究会への参加	研修の妨げにならない範囲で可。(費用については一部支給有)

所在地 〒862-8505 熊本市東区東町4丁目1番60号
 担当部署 事務局/総務企画課/人事班
 TEL 096-365-1711(代表)内線3126
 FAX 096-365-1712
 E-mail shiminbyouinsoumu@city.kumamoto.lg.jp
 URL www.cityhosp-kumamoto.jp

募集要項の最新情報は
ホームページをご覧ください。
www.cityhosp-kumamoto.jp



年間約5万人を超える救急患者の初期診療から入院・集中治療まで積極的に関わる研修

熊本赤十字病院



標榜科

内科、腎臓内科、糖尿病内科、リウマチ科、血液・腫瘍内科、精神腫瘍科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、呼吸器外科、乳腺内分泌外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、小児外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、放射線治療科、麻酔科、歯科、歯科口腔外科、救急科、病理診断科

2024年度現在の医師数

医師数 DOCTOR	228名	研修医数 INTERN	29名
指導医数 ADVISOR	74名	病床数 SICKBED	490床 (一般)

2023年度実績

1日平均 外来患者数	999.4人
1日平均 入院患者数	407.1人
年間 手術件数	5,294件

救急と総合内科を重視し「目の前の患者から逃げない医師」に

当院の研修の目的は、「目の前の患者から逃げない医師」の育成です。救命救急センターと総合内科を中心に、プライマリ・ケアに重きを置いています。24時間365日、一次から三次まで年間約5万人、救急車約8,000台を受け入れる「総合救命救急センター」での研修を重視。さらに、小児救命救急センター指定で年間2万人以上を受け入れる「こども医療センター」での研修や、ドクターヘリへの体験搭乗、年6回の災害救護訓練など、独自の学びも豊富です。

教わり、そして教える研修実践経験の中から得る技術と知識

■ER重点／当院の救急研修は、救急科をローテーションする期間だけでなく、1年を通じて救急外来担当を受け持ち、月5〜6回は準夜帯の救急外来を指導医のもとで研修します。軽症の患者さんを多数診察し、その中から重症患者を見逃さない能力、救急車で来院されるような重症の患者さんに対応する初期診療能力、この2つを2年間かけて習得することで、プライマリ・ケア対応能力が格段に身に付きます。

■ハンズオン／当院の指導方法は、積極的に治療・手技を経験させる「ハンズオン」実践主義です。もちろん、指導医のサポートと事前のシミュレーション訓練はかせません。テキストを読むだけ、見学だけでは、自分の本当の知識や技術にはなり得ません。実践経験して初めて、脳裏に深く刻まれます。

■屋根瓦式指導／1年次では、2年次研修医のアシスタントとしてチームで診療に加わり、2年次では、1年次を指導しながら主治医として治療に当たります。「教えることは学ぶこと」の理念のもとに、1年次〜2年次〜専攻医〜指導医の3〜4枚の屋根瓦指導方式で研修を行います。

指導医からのコメント

熊本赤十字病院
第一救急科
部長

加藤 陽一
Youichi Katoh



当院では指導医・専攻医・研修医の屋根瓦方式の指導体制で、研修医も主体性を持って治療や手技に当たれます。また、研修医の出身大学は様々な、全国各地から来た同期と切磋琢磨できるのも魅力。将来の専門に進むとしても、ジェネラリストとしての基盤作りをしたい研修医をお待ちしています！

2025年度臨床研修プログラム

■臨床研修 週間スケジュール

2年次：診療科目／内科

曜日	月	火	水	木	金
朝		研修医講義			
午前	入退院カンファレンス、病棟管理			外来研修(2年次のみ)	入退院カンファレンス、病棟管理
午後	回診、病棟管理			外来研修(2年次のみ)	回診、病棟管理
夕方	内科講義		内科カンファレンス		

■臨床研修 年間スケジュール

1年次

〈ER重点〉初期臨床研修・〈総合診療重点〉初期臨床研修 共通プログラム

週	1〜2週	3〜6週	7〜10週	11〜14週	15〜18週	19〜22週	23〜26週	27〜30週	31〜34週	35〜38週	39〜42週	43〜46週	47〜50週
分野	オリエンテーション	麻酔科	救急科	外科	産婦人科	小児科	内科						
場所	熊本赤十字病院(基幹型)												

※残り2週はローテーション時期によって、内科・救急科・小児科・産婦人科・麻酔科・外科に追加する

2年次

〈ER重点〉初期臨床研修プログラム

週	1〜4週	5〜8週	9〜12週	13〜16週	17〜20週	21〜24週	25〜28週	29〜32週	33〜36週	37〜40週	41〜44週	45〜48週	49〜52週
分野	内科系				救急科/ICU	精神科	地域	選択科研修					
場所	熊本赤十字病院(基幹型)						協力型病院、協力施設	熊本赤十字病院(基幹型)					

〈総合診療重点〉初期臨床研修プログラム

週	1〜4週	5〜8週	9〜12週	13〜16週	17〜20週	21〜24週	25〜28週	29〜32週	33〜36週	37〜40週	41〜44週	45〜48週	49〜52週
分野	内科系				救急科	精神科	地域	選択科研修					
場所	熊本赤十字病院(基幹型)						協力型病院、協力施設	熊本赤十字病院(基幹型)					

専門研修プログラム

新専門医制度においては、「内科」「外科」「救急科」「総合診療科」「産婦人科」「麻酔科」の6領域の基幹施設として専門研修プログラムを整備。(詳細はホームページを参照)

研修医募集要項

応募資格 ①医師国家試験を受験予定の方
又は、医師免許取得者で卒後臨床研修を未実施の方
②マッチング参加者

応募締切・試験日程 未定(ホームページを確認ください)

試験内容 書類審査、面接試験(予定)
給料 1年次 月額/約300,000円
2年次 月額/約340,000円

諸手当 賞与有、時間外手当有

年次有給休暇 有
宿舎 職員用宿舎有(単身用・1LDK・駐車場付・病院から徒歩5分以内)
加入する保険等 健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労働者災害補償保険の適用有
勤務時間 週38時間45分 平日午前8時30分から午後5時05分(休憩50分)
時間外勤務 有

当直回数 準夜勤 約5〜6回/月
有給休暇 年次有給休暇/年間24日・夏季休暇(1週間連続の年休取得が可能)・慶弔休暇等の特別有給休暇有

健康管理 職員健康診断(年2回)、各種予防接種、メンタルヘルスカウンセリング制度
医師賠償責任保険 病院加入有、個人加入任意
外部研修 教育研修への参加機会有(参加費用補助有)(日本赤十字社本社研修、日本医学学会等)

その他 職員食堂、院内職員用浴室(シャワー室)、仮眠室、ランドリー完備、医局内研修室有、白衣(KC)・救急当直用スクラブ・携帯電話の貸与制度、互助会・院友会、院内職員用トレーニングルーム・音楽室・リラクゼーションルーム、テニスコート・グラウンド、各種クラブ・サークル活動有

所在地 〒861-8520 熊本市東区長嶺南2丁目1番1号
担当部署 熊本赤十字病院/教育研修推進課
Fax 096-384-2111
TEL 096-384-2395
E-mail rinsyokensyu@kumamoto-med.jrc.or.jp
URL www.kumamoto-med.jrc.or.jp

募集要項の最新情報は
ホームページをご覧ください。
www.kumamoto-med.jrc.or.jp/
special/resident



県内全域で協力病院群を形成 豊富な指導医陣と最新の医療設備の下、将来に直結する研修を

国立大学法人熊本大学 熊本大学病院



標榜科

血液内科、腎臓内科、呼吸器内科、消化器内科、脳神経内科、循環器内科、小児科、消化器外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、小児外科、移植外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、眼科、放射線治療科、リハビリテーション科、病理診断科、歯科口腔外科、糖尿病・代謝・内分泌内科、膠原病内科、乳腺・内分泌外科、婦人科、産科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、画像診断・治療科、神経精神科、麻酔科・緩和ケア、総合診療科、救急外来

2024年度現在の医師数

医師数 DOCTOR	652名 [※]	研修医数 INTERN	25名 [※]
指導医数 ADVISOR	156名 [※]	病床数 SICKBED	845床

※歯科医を除く

2023年度実績

1日平均 外来患者数	1,473人 [※]
1日平均 入院患者数	731人 [※]
年間 手術件数	18,941件 [※]

広さと深さを備えた臨床研修で将来につなげる

大学病院群の特徴は、研修範囲の広さとその柔軟性です。大学病院と協力病院・施設で研修を行うことで診療の幅、経験値、医療連携を拡げることができます。研修中の多様な選択肢から、目的や探求心を持ち、さらにそれを深めていき、医師としての将来像に繋げることが可能です。また、基礎から専門医療まで一貫した指導のシステムが構築されており、3年目以降の新専門医プログラムにダイレクトに繋がるという点も大きな魅力といえます。

充実した研修経験に結びつく多様な研修コースと豊富な指導体制

熊本大学病院群卒後臨床研修プログラムは、多くの指導医が在籍し、充実した指導体制を誇ります。特に「自由設計コース」では、大学病院や地域医療研修に加え、最大3施設まで希望する協力型研修病院・施設での研修が可能で、救急やcommon disease、プライマリ・ケアから高度医療まで幅広い臨床経験を積むことができます。また、総合診療・地域医療特化コースや周産期・小児科特化コースなど、将来のキャリアに応じた特色あるコースも用意されており、各科ローテート中の準夜帯救急研修も実施できます。研修期間中には、研修医向けのカンファレンスやWebセミナーなどの教育プログラムが充実し、他では得られない貴重な学習機会を提供します。さらに、令和5年度からは低侵襲医療トレーニングセンターおよび遠隔診療トレーニングセンターを設置し、技術向上を図ることが可能です。総合臨床研修センターが手厚くサポートし、研修医が有意義で充実した2年間を過ごせる環境を整えています。本プログラムを通じて、幅広い経験を積みながら医師としての礎を築き、明るく希望に満ちたスタートを切ることを願っています。

指導医からのコメント

熊本大学病院
副院長・
総合臨床研修
センター長
呼吸器内科長
(教授)

坂上 拓郎
Takuro Sakagami



各領域にスペシャリストがいて、若手・中堅医師、教員まで厚い指導体制をとっています。教育機関として本人の研修段階に合わせて指導できるのも大学の特徴です。大学病院や協力病院で多くの医師や同僚と出会い、患者さんから多くを学ぶことで、自分の医師としての可能性を広げる研修になるはずです。

2025年度臨床研修プログラム

プログラム
最新情報は
コチラ



プログラム自由設計A・Bコース

(※Bコースは熊本大学病院奨学金受給者を対象とする。)

週	24か月
分野	内科(24週以上)、救急部門(12週以上)外科、小児科、産婦人科、精神科(各4週以上)、地域医療(4週以上)、選択
場所	熊本大学病院12ヶ月以上+協力病院・施設(0ヶ月～最長12ヶ月) 自由選択

※4週以上の外来研修を含む。
※救急部門は同一施設でのブロック研修(12週以上(うち麻酔科研修は4週まで可))を行う。
※1つの協力病院での研修期間は3ヶ月以上(地域医療研修および単科(産婦人科・精神科)病院、その他研修協力施設は1ヶ月でも可)。
※研修先(協力病院・施設)の数は、地域医療研修先を除き3病院まで。

プログラム総合診療・地域医療特化コース

週	12か月	12か月
分野	内科(24週以上)、救急部門(12週以上)、総合診療科(もしくは総合内科)(12週以上)、地域医療(12週以上)、外科、小児科、産婦人科、精神科(各4週以上)、選択	
場所	熊本大学病院	指定協力型臨床研修病院

※4週以上の外来研修を含む。

プログラム周産期特化・小児科特化コース

週	24か月
分野	内科(24週以上)、救急部門(12週以上)、外科、精神科(各4週以上)、地域医療(4週以上)、 (1)周産期を選択の場合：産婦人科(40週以上)、小児科(4週以上)、選択 (2)小児科を選択の場合：小児科(40週以上)、産婦人科(4週以上)、選択
場所	熊本大学病院

※周産期または小児科のいずれかを希望することが出来る。
※2年次の選択科として小児科または産婦人科に関連する診療科、協力病院での研修も可能である。
※大学病院または協力病院での研修に4週以上の外来研修を含む。

専門研修 プログラム

2018年度より新たな専門医制度が開始され、大学病院群では各種基本領域の新専門医プログラムを実施しています。新制度の専門医取得を目指して、3年目以降の進路を考えながら初期研修を進めることができます。

研修医募集要項

応募資格	①第120回医師国家試験を受験する者、又は2021年4月以降に医師免許取得後、臨床研修未実施で臨床研修を受けようとする者 ②医師臨床研修マッチングプログラムに参加する者 ③2021年3月以降に医師国家試験の受験資格を得た者又は得る見込みの者
応募締切	2025年7月上旬(予定)
試験日程	2025年7月下旬(予定)
試験内容	書類審査、面接試験
給料(月額)	1年次 月額/約300,000円 2年次 月額/約300,000円 ※1 ※2
諸手当	超過勤務手当、通勤手当、住居手当、救急勤務医手当、病院職員特別手当 等有(採用日に10日付与)
特別有給休暇	有 4月～3月(1年度)に6日(夏季一斉休業分含む)
宿舎	無(出向時は研修施設による)、住居手当あり(最大28,000円)
加入する保険等	厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険、文部科学省共済組合
医師賠償責任保険	病院加入有、個人加入任意(個人負担)
当直回数	無(出向時は研修施設の規定に従う)
その他	院内無線LAN使用可、医学系契約サイト閲覧可(UpTo Date等)、白衣支給、研修医室有

応募先住所	〒860-8556 熊本市中央区本荘1-1-1
担当部署	熊本大学病院総合臨床研修センター(事務担当)総務課卒後教育担当
TEL	096-373-5689(直通) 096-373-5994(直通)
FAX	096-373-5952
E-mail	iys-kensyu@jimu.kumamoto-u.ac.jp (総務課卒後教育担当)

※1 協力型臨床研修病院・研修協力施設で研修中(研修期間が3ヶ月以上の場合)は、研修先の規定による給与が支払われる。
※2 準夜帯の救急研修に従事した場合、超過勤務手当又は救急勤務医手当(1回につき18,000円)を支給(最大4回まで)

募集要項の最新情報は
ホームページをご覧ください。
<https://www2.kuh.kumamoto-u.ac.jp/rinsyokensyu/recruitment/kenshui/index.html>



急性期に特化した病院機能が迅速な判断力、的確な検査計画力を培う

国家公務員共済組合連合会

熊本中央病院



標榜科 呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、糖尿病・内分泌・代謝内科、腎臓内科、腫瘍内科、緩和ケア内科、救急総合診療科、小児科、外科、整形外科、呼吸器外科、心臓血管外科、脳神経外科、乳腺・内分泌外科、形成外科、泌尿器科、眼科、麻酔科、放射線科、病理診断科

2024年度現在の医師数

 医師数 DOCTOR	90名	 研修医数 INTERN	12名
 指導医数 ADVISOR	25名	 病床数 SICKBED	361床

2023年度実績

 1日平均 外来患者数	503人
 1日平均 入院患者数	214.0人
 年間 手術件数	3,195件

アットホームな急性期医療を展開

当院は「質の高い誠実な医療による地域への貢献」を理念とし、地域の診療所・病院と協力・連携して、入院を中心とした急性期医療の展開により地域医療に貢献しています。各科の垣根が低く、アットホームな環境で他診療科、メディカル・スタッフと連携しながら、患者さんを中心とした誠実で効果的な医療が学べます。また研修医懇談会などで研修医を公私ともに支え、勉強会や院外講師による講演会などで学術面もしっかりサポートしています。

プライマリ・ケアに重点を置いた治療の実施から適切なコンサルテーションまで

当院の地域医療における機能は急性期に特化しているため、初期研修ではプライマリ・ケアに重点をおきながら的確な検査計画に基づく迅速な診断、そして治療の実施から適切なコンサルテーションができるまでを研修できます。それと同時に、リスク管理を高めることで安全な医療の提供を目指し、さらにわかりやすいインフォームド・コンセントにて患者や家族の満足度を高めることも研修の重点目標です。研修コースは2コースあり、両コースとも1年目に内科・外科・麻酔科等を院内で研修し、基本的診療能力を身に付けることを目標としています。当院では学べない領域の救急・産婦人科・精神科・地域医療は院外研修先で研修を行います。2年目に地域の中核病院で研修する「地域医療特化コース」は、地域に密着した医療に深く関わることで地域医療に貢献できる基礎を築きます。両コース共に院内、院外複数科の中から選択科を選び専門性を深く研修できるようにしており、将来の専攻をじっくり考えながら研修することが出来ます。

指導医からのコメント

熊本中央病院
救急総合
診療科部長
腎臓内科

松下 芳雄
Yoshio Matsushita



当院の研修プログラムでは、じっくりと患者さんに向き合えるよう担当患者は5名程度にしています。また自主性を尊重し自由度が高いのも特長です。さらに虎の門病院などのKKR関連病院、ER型救急医療や、へき地医療を含む協力病院での研修も充実しています。病院一丸となってあなたの成長をサポートします。

2025年度臨床研修プログラム

■臨床研修 年間スケジュール(例)

1年次

熊本中央病院 コース

週	24週	6週	6週	8週	4週	4週
分野	内科	外科	麻酔科	救急	救急総合診療科※1	選択科目※2
場所	熊本中央病院			済生会熊本病院		熊本中央病院

地域医療特化コース

週	24週	6週	6週	4週	8週	4週
分野	内科	外科	麻酔科	救急総合診療科※1	救急	選択科目※2
場所	熊本中央病院				済生会熊本病院	熊本中央病院

2年次

熊本中央病院 コース

週	4週	4週	4週	6週	1週	33週
分野	産婦人科	精神科	地域医療等※1	小児科	在宅医療	選択科目※2
場所	福田病院	協力型病院※4	協力型病院※4 協力施設※5	熊本中央病院	協力施設※5	熊本中央病院 他 ※3 ※4 ※5 ※6

地域医療特化コース

週	8週	6週	4週	1週	4週	4週	25週
分野	選択科目	小児科	地域医療等※1	在宅医療	精神科	産婦人科	選択科目※2
場所	熊本労災病院 or くまもと県北病院	熊本中央病院	協力型病院※4 協力施設※5	協力施設※5	協力型病院※4	福田病院	熊本中央病院 他 ※3 ※4 ※5 ※6

※1一般外来をそれぞれで2週ずつ計4週並行研修

※2選択科目／呼吸器内科、呼吸器外科、消化器内科、循環器内科、糖尿病・内分泌・代謝内科、腎臓内科、腫瘍内科、小児科、外科、整形外科、泌尿器科、腫瘍内科、眼科、麻酔科、形成外科、心臓血管外科、放射線科、乳腺・内分泌外科、病理診断科 など

※3協力型病院／済生会熊本病院、熊本労災病院、くまもと県北病院、福田病院

※4協力型病院／益城病院、くまもと心療病院、弓削病院、くまもと青明病院、阿蘇医療センター、球磨郡公立多良木病院

※5協力施設／牛深市民病院、沢田内科医院、すえふじ医院、谷田病院、熊本市保健所、ひまわり在宅クリニック、介護施設 など

※6協力型病院／斗南病院(血液内科)、虎の門病院(血液内科、脳神経内科)、横須賀共済病院(脳神経内科)、浜の町病院(血液内科)

専門研修プログラム

新専門医制度では、連携施設として複数のプログラムに参加しています。

研修医募集要項

応募資格 ①医師免許取得者及び第120回医師国家試験合格見込者(2026年2月実施予定)
②医師臨床研修マッチングに参加する者

応募締切 2025年8月(詳細はHPをご覧ください)

試験日程 2025年8月(詳細はHPをご覧ください)

試験内容 書類審査、面接試験

給料 1年次:月額／320,000円

2年次:月額／340,000円

諸手当 研修医研修手当等、賞与年2回、宿日直手当、通勤手当

宿舎 無

医師賠償責任保険 病院加入有

当直回数 3～4回／月程度

所在地 〒862-0965 熊本市南区田井島1丁目5番1号

担当部署 診療支援センター/臨床研修事務担当 飯田

T E L 096-370-3111(代表)

F A X 096-378-8868

E - m a i l kensyu@kumachu.kkr.or.jp

U R L https://kumachu.kkr.or.jp/

募集要項の最新情報は
ホームページをご覧ください。
https://kumachu.kkr.or.jp/rn2024/
recruit/recruit_requirements.html



プログラム
最新情報は
コチラ



救急総合診療と日本有数の症例数 独自の研修システムで実りある研修を

社会福祉法人恩賜財団 済生会熊本病院



標榜科

内科、外科、消化器内科、消化器外科、整形外科、呼吸器内科、呼吸器外科、腫瘍内科、糖尿病内科、泌尿器科、腎臓内科、心臓血管外科、循環器内科、脳神経外科、脳神経内科、放射線科、麻酔科、救急科、病理診断科、リハビリテーション科

2024年度現在の医師数

医師数 DOCTOR	206名	研修医数 INTERN	22名
指導医数 ADVISOR	95名	病床数 SICKBED	400床

2023年度実績

1日平均 外来患者数	478.8人
1日平均 入院患者数	363.7人
ご相談	5,196件

専門性の高い指導医が多数・総合的かつ専門的な研修が可能

当院の指導医在籍数は県内トップクラス。各指導医の専門性も高く、高度かつ低侵襲な医療を行っています。研修医全員が研修を行う救急総合診療センターでは、救急外来の受け入れから、検査計画や鑑別診断、治療を同時に進行します。入院の必要性を判断した場合には、入院加療から退院まで、一連の流れを経験できます。こうした医療現場の“入口から出口まで”を担える研修制度は、当院ならではの特徴だといえます。

プライマリ・ケアから高度先進医療まで学べる環境

臨床研修の基本理念に基づき、到達目標を達成するプロセスの中で、プライマリ・ケアに対応できる基本知識や技能の習得を目指しています。また、高度医療を提供する病院の特徴を活かし、各診療科でプライマリ・ケアから高度先進医療まで学ぶことができます。済生会熊本病院を中心に、協力型臨床研修病院及び施設と臨床研修病院群を形成し、地域医療や当院にない診療科も研修できる教育体制を構築しています。当院では2つのプログラム(SAKURA、KEYAKI)を設けており、SAKURAは保健所や介護老人保健施設など様々な施設での研修ができ、KEYAKIは熊本県指定の地域の中核病院等での研修ができます。ローテーションスケジュールは個人のニーズに合わせて調整可能です。救急科研修は準夜帯救急外来研修を通じ、通年行います。その他、指導医のサポートを受けて学会発表などの学術経験を積むことができます。またメンター制度があり、上級医によるフォロー体制の充実も図っています。メディカルスタッフとの関りも多く、チーム医療を意識して研修を行っています。

指導医からのコメント

済生会熊本病院
総合診療科
副部長
プログラム責任者

杉山 真一
Shinichi Sugiyama



初期研修には、専攻医や後期研修医も含め、互いに学び合う「Out Put」が大事だと考えます。研修医たち自身が、何を学びたいか自ら考え企画する研修医セミナーもその「Out Put」の1つです。若いスタッフが入ると、その組織は間違いなく活性化します。皆さんの成長をメディカルスタッフも含め、全員でサポートします。

2025年度臨床研修プログラム

プログラム
最新情報は
コチラ



■年間スケジュール(例)

SAKURA 急性期病院の特徴である救急医療の症例を経験するため、当院の診療科を中心に研修を行います。

1年次

週	24週	8週	4週	4週	4週	4週
分野	内科	外科	救急科	選択科	小児科	精神科
場所	済生会熊本病院				協力型病院	

2年次

週	8週	4週	4週	32週
分野	救急科	地域医療	産婦人科	選択科目
場所	済生会熊本病院	協力型病院	済生会熊本病院、協力型病院、協力施設	

KEYAKI 熊本県が指定する協力病院での3ヶ月間の研修を含みます。選択科は、当院及び熊本県指定病院から研修先を選択できます。

1年次

週	24週	8週	4週	8週	4週
分野	内科	外科	救急科	選択科	精神科
場所	済生会熊本病院				協力型病院

2年次

週	8週	4週	4週	4週	28週
分野	救急科	地域医療	小児科	産婦人科	選択科目
場所	済生会熊本病院	協力型病院	済生会熊本病院、協力型病院		

専門研修 プログラム

2018年度から開始した専門医制度では、内科・外科・救急科・麻酔科の4領域でプログラム認定を受けており、専門医取得に向けた研修が可能です。(詳細はホームページを参照)

研修医募集要項

応募資格	①医師臨床研修マッチングプログラム参加者 ②第120回医師国家試験を受験予定の方、又は、医師免許取得者で卒後臨床研修を未実施の方
応募締切	当院のホームページをご覧ください
選考期日	2025年8月頃 ※決定次第ホームページに掲載します
試験内容	面接試験
給料	1年次 月額／350,000円 2年次 月額／370,000円
諸手当	時間外手当、通勤手当、住居手当、扶養手当等
年次有給休暇	有／初年度10日(入職から1か月後経過後)、次年度11日
宿舎	有／1LDK・2LDK、駐車場付、費用一部自己負担
加入する保険等	健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険
医師賠償責任保険	病院加入有
当直回数	1回／月程度

所在地 〒861-4193 熊本市南区近見5丁目3番1号
担当 者 ●臨床研修プログラムに関すること
人材開発室
TEL:096-351-8515
●採用に関すること
人事室
TEL:096-351-8074

E-mail saiyou@saiseikaikumamoto.jp
URL www.sk-kumamoto.jp

募集要項の最新情報は
ホームページをご覧ください。
www.sk-kumamoto.jp/recruit/
trainee/early



救命救急医療と高度先進医療を担う急性期総合病院

独立行政法人 熊本医療センター 国立病院機構



標榜科

総合診療科、血液内科、腫瘍内科、糖尿病・内分泌内科、感染症内科、呼吸器内科、腎臓内科、消化器内科、循環器内科、心臓血管外科、脳神経外科、脳神経内科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、放射線科、放射線治療科、救急科、病理診断科、外科、頭頸部外科、呼吸器外科、小児外科、整形外科、形成外科、精神科、リウマチ科、小児科、泌尿器科、産婦人科、リハビリテーション科、麻酔科、歯科、歯科口腔外科

2024年度現在の医師数

医師数 DOCTOR 常 動 163名 非常動 10名	研修医数 INTERN 34名
指導医数 ADVISOR 50名	病床数 SICKBED 550床

2023年度実績

1日平均 外来患者数	508.7人
1日平均 入院患者数	478.9人
年間 手術件数	4,419件

日本でもトップクラスの救急車受入実績と高度ながん診療体制

熊本医療センターは、救命救急医療とがん医療を担う急性期総合病院です。救急疾患から悪性疾患まで豊富な症例を経験することが可能です。日本でもトップクラスの救急車搬入実績（年間約9,500台）を持つ救命救急センターでは、プライマリ・ケアから救命救急・集中治療まで充実した研修を行うことができます。侵襲的な処置の技術習得のため、シミュレーションモデルを用いたスキルトレーニングを数多く開催しています。

多くの診療科があり、幅広くかつ充実した臨床研修が可能

①全職員を挙げて断らない救急医療を実践しており、日本でもトップクラスの救急車受入実績を持ちます。救急外来だけでなく、ほぼすべての研修診療科で救急医療に関わることができます。また、がん医療にも力を入れており、多くの高度ながん医療を実践しております。②34の標ぼう診療科があり、必修分野だけでなく、幅広い選択分野から将来を見据えた研修を行うことができます。③スキルアップラボセンターがあり、医療技術習得のために、シミュレーションモデルを用いたスキルトレーニングを実施しています。④主に研修医を対象としたセミナーを毎週開催し、研修医が学べき基本的知識について年間を通して学習することができます。⑤外国人医師を招聘し、英語によるプレゼンテーションや回診を開催しています。⑥臨床研究の基礎を学ぶセミナーを開催しています。⑦地域医療研修センターでは、年間を通して2,700回を超える研修会が開催されており、これらの研修に参加することができます。

指導医からのコメント

国立病院機構
熊本医療センター
教育研修科長

河北 敏郎
Toshiro Kawakita



救急研修と診療科研修の両方を学ぶことができるプログラムです。研修医数が多く、研修医の雰囲気とてもよい病院です。上級医や指導医の中には当院の研修医出身の先輩たちもたくさんいますので、熱心に、優しく指導してもらえます。市街地に近いため、仕事とプライベート共に充実した2年間を送ることができると思います。

2025年度臨床研修プログラム

■臨床研修年間スケジュール

1年次

総合臨床研修、プライマリケア臨床研修共通プログラム

週	6週	6週	6週	6週	6週	6週	4週	4週	4週
分野	内科			外科	麻酔科	救命救急科 (一般外来2週)	精神科	小児科	産婦人科
場所	熊本医療センター								

2年次

総合臨床研修プログラム

週	6週	6週	1週	4～5週	35～36週
分野	内科	救命救急科	産婦人科 ※2	地域医療 (一般外来※1)	選択
場所	熊本医療センター				

プライマリケア臨床研修プログラム

週	6週	6週	1週	8週	32週
分野	内科	救命救急科	産婦人科 ※2	地域医療 (一般外来※1)	選択
場所	4～12月／研修病院グループA※3(7か月)、研修病院グループB※4(2か月)よりそれぞれ選択、1～3月／熊本医療センター				

※1 一般外来は並行研修で2週 ※2 指定の協力病院で産科研修 ※3 荒尾市民病院、くまもと県北病院、国保水俣市立総合医療センター
※4 山鹿市民医療センター、阿蘇医療センター、小国公立病院、山都町包括医療センターそよう病院、国保水俣市立総合医療センター

専門研修 プログラム

当院は4領域の専門医研修プログラムの基幹施設です。引き続き専門医研修プログラムに進むことができます。
「救急科」「総合診療科」「内科」「形成外科」



研修医募集要項

応募資格	2026年3月医師免許取得見込みの方、又は2004年度以降医師免許取得者で卒後臨床研修を未実施の方
応募締切	未定
試験日程	未定
試験内容	小論文、面接
給料	1年次 月額/354,000円 2年次 月額/374,000円
諸手当	通勤手当、特殊勤務手当
年次有給休暇	有
加入する保険等	全国保険協会保険、厚生年金に加入。労働災害保証適用有
医師賠償責任保険	病院加入無し。個人加入任意(個人負担)
当直回数	夜勤・日勤・準夜勤が合計で3～4回/月

所在地 〒860-0008 熊本市中央区二の丸1番5号
担当部署 国立病院機構熊本医療センター/管理課給与係長
TEL 096-353-6501(代)
FAX 096-325-2519
E-mail 613-jinji@mail.hosp.go.jp
URL kumamoto.hosp.go.jp

募集要項の最新情報は
ホームページをご覧ください。
<https://kumamoto.hosp.go.jp/recruit/jobs/doctor/#intern>





患者さまが満足される最新の医療と情熱をもって実践する

独立行政法人地域
医療機能推進機構

熊本総合病院



標榜科 内科、腫瘍内科、感染症内科、アレルギー疾患内科、血液内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、胃腸内科、内視鏡内科、脳神経内科、腎臓内科、人工透析内科、糖尿病内科、内分泌内科、代謝内科、脂質代謝内科、外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、肛門外科、腫瘍外科、肝臓外科、膵臓外科、胆のう外科、食道外科、胃外科、大腸外科、内視鏡外科、疼痛緩和外科、心臓血管外科、整形外科、リハビリテーション科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、放射線科、放射線治療科、病理診断科、アレルギー科、麻酔科

2024年度現在の医師数

医師数 DOCTOR	73名	病床数 SICKBED	400床
指導医数 ADVISOR	23名		--

地域医療から先進医療まで幅広い領域で多彩な経験を積む

医療圏の最も歴史ある公的病院として独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO)の政策医療に呼応した4大疾病(がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病)に対する質の高い地域完結型医療は勿論のこと、熊本県南唯一の腎センター・糖尿病センター・脳卒中センターに加えて、心臓病センター・消化器内科・血液内科ならびに各種内科系診療科や外科系手術も充実し、ヘリポートも活用した救急・災害医療にも対応している質の高い総合医療を行う高度急性期総合病院です。

細やかな指導と実践主義で、経験値の高い研修をバックアップ

熊本市からのアクセスが良く、地方都市の中核病院である当院の特徴を生かし、プライマリ・ケアを中心に家庭環境や地域医療資源をも考慮した包括的ケアの実践まで、各科の垣根を越えた幅広い分野での経験を積むことにより自身の適正を見極めることが可能です。2019年度より基幹型臨床研修病院としてスタートしたため、日は浅く、他院と比べて受入人数は少なくなりますが、少人数だからこそマンツーマンできめ細やかな指導が受けられ、実技も十分習得できるという利点があります。手術支援ロボット「ダヴィンチXi(da Vinci Xi)」をはじめとした最新の医療機器を備え、「とにかくやってみる」をモットーとしたハンズオン実践主義で指導しますので、研修医1人あたりの経験値としては、限りなく高いものになることを保証します。研修の目標を達成するために、研修医の希望を最大限にいかした自由な診療科選択が可能ですので、やりたいことがあれば積極的に研修責任者に相談してください。診療科問わず、全ての医師が協力して指導します。

2023年度実績

1日平均 外来患者数	558.9人
1日平均 入院患者数	369.1人
年間 手術件数	5,430件

指導医からのコメント

熊本総合病院
副院長兼
外科部長

堀野 敬

Kei Horino



臨床研修に大切なのは、当院の理念にもある“患者様に満足される最新の医療を、情熱を持って実践する”という信念です。研修は“人の命を救う”という使命を果たすための準備期間。何事にも興味を持って挑戦し、経験を積むことで、医師である前に一人の人間として立派に育ってもらいたいです。



2025年度臨床研修プログラム

■臨床研修 週間スケジュール(例)

内科(消化器内科)

曜日	月	火	水	木	金
		病理カンファレンス		消化器カンファレンス	
午前	病棟、検査(内視鏡又は超音波)	救急外来、病棟、検査	外来	病棟、検査	病棟カンファレンス、外来
午後	病棟、検査	病棟、検査	回診	病棟、検査	病棟 検査

■臨床研修 年間スケジュール

1年次

Aパターン

週	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
分野	内科(一般外来1週※1)							救急部門		外科 (一般外来1週※1)	小児科	産婦人科	精神科
場所	熊本総合病院										協力型病院・協力施設※3		

Bパターン

週	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
分野	内科						救急部門			選択科目※2			
場所	熊本総合病院									熊本総合病院・協力型病院・協力施設※3			

2年次

Aパターン

週	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
分野	地域医療 (一般外来1週※1)	選択科目※2(一般外来1週※1)											
場所	協力施設	熊本総合病院、協力型病院・協力施設※3											

Bパターン

週	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
分野	選択科目※2		小児科	産婦人科	精神科	外科	地域医療 (一般外来4週※1)	選択科目※2					
場所	熊本総合病院、協力型病院・協力施設※3		協力型病院・協力施設※3			熊本総合病院	協力施設	熊本総合病院、協力型病院・協力施設※3					

※1 一般外来は、内科(総合診療部)、外科、地域医療において、並行研修として合計で4週以上行う

※2 選択科目/内科(消化器内科、血液内科、呼吸器内科、循環器内科、腎臓内科、脳神経内科、糖尿病・代謝・内分泌内科、総合診療部)、外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、婦人科、耳鼻いんこう科・頭頸部外科、眼科、皮膚科、麻酔科、放射線科、放射線治療科、麻酔科、小児科、産婦人科、精神科、地域医療

※3 協力型病院・協力施設/小児科:熊本大学病院、国保水俣市立総合医療センター、精神科:医療法人カジオ会八代病院シーサイドこころケアステーション、地域医療:熊本総合病院附属クリニック、南海医療センター

専門研修 プログラム

新専門医制度では、連携施設として複数のプログラムに参加しています。



研修医募集要項

応募資格	2026年2月実施医師国家試験合格見込者、又は医師免許を取得した者で臨床研修未実施者 医師臨床研修マッチングプログラム参加者
応募締切	2025年8月中旬から下旬(予定)
試験日程	2025年8月下旬から9月上旬(状況に応じて随時実施)
試験内容	書類審査、面接試験
給料	1年次 月額/約430,000円 2年次 月額/約465,000円
諸手当	賞与(年2回、病院の実績に応じて年度末賞与の支給あり)、超過勤務手当、宿日直手当、通勤手当等
年次有給休暇	年次有給休暇(1年次15日、2年次20日)、夏季休暇(3日)、年末年始、慶弔に係る休暇等
宿舎	有(3DK)
加入する保険等	健康保険組合、厚生年金、雇用保険、労働災害補償保険
医師賠償責任保険	病院加入有、個人加入任意(個人負担)
当直回数	無(ただし、本人の希望がある場合には従事可能)

所在地 〒866-8660 熊本県八代市通町10番10号
担当部署 総務企画課
TEL 0965-32-7111
FAX 0965-32-2772
E-mail main@kumamoto.jcho.go.jp
URL kumamoto.jcho.go.jp

募集要項の最新情報は
ホームページをご覧ください。
<https://kumamoto.jcho.go.jp/newera/careers/#ca2>





1年目で基本の研修を、2年目は希望に応じ各診療科を学ぶことができるプログラム

独立行政法人労働者
健康安全機構

熊本労災病院



標榜科 内科、呼吸器内科、消化器内科、脳神経内科、糖尿病・代謝内科、精神科、循環器内科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、呼吸器外科、小児外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科、歯科口腔外科

熊本労災病院
臨床研修センター
ホームページ
▶▶▶



● 2024年度現在の医師数

 医師数 DOCTOR	80名	 研修医数 INTERN	12名
 指導医数 ADVISOR	40名	 病床数 SICKBED	410床

● 2023年度実績

 1日平均 外来患者数	593人
 1日平均 入院患者数	333人
 年間 手術件数	6,639件

県南の公的中核病院として救急医療、地域医療の要で学ぶ

当院は、熊本県第二の都市である八代市に位置し、九州新幹線「新八代駅」のそばにあります。「地域がん診療連携拠点病院(国指定)」や「災害拠点病院(熊本DMAT指定病院)」等様々な施設認定を受け、熊本県南地域における公的中核病院の1つとして、年間約4,000台の救急車受入れをはじめとした地域の高度専門医療を担っています。

自由度の高いプログラムで「何を学びたいか」を尊重する

2024年4月現在、80名の常勤医師が在籍しており、年代の近い医師から診療科部長クラスまで、幅広い世代・診療科の上級医たちが熱意ある指導を行っています。研修医は協力型を含め1学年10名前後と少数であり、指導医がマンツーマンででき細かく対応します。経験症例はカンファレンスや医局会のほか、1年目から学会での発表もしていただいており、論文の投稿についても指導しています。

ローテートの順番については年2回のヒアリングを通して決定しますが、研修の途中で希望により変更することが可能であり、融通が利く自由度の高いプログラムです。臨床医の基本として、基礎知識を理解し、病歴聴取・身体診察・基本手技を実施すること、また、救急初期対応としてのABC、蘇生、縫合結紮、中心静脈確保を行うことができるようになるまで徹底的に指導します。また、労災病院の特色の一つでもある勤労者医療、産業医活動、職業別疾患医療についても学ぶことができます。全国32の労災病院グループの繋がりを生かし、2年次には選択診療科として協力病院である横浜労災病院の救命救急センターで三次救急を学ぶことも可能です。

指導医からのコメント

熊本労災病院
副院長

松村敏幸

Toshiyuki
Matsumura



当院では研修医室が総合医局内に設置され、週1回の研修医朝講義や、月1回のカツカレーの会(症例発表・交流会)など、上級医と交流しやすい環境が整っています。研修の自由度も高く、「何を与えられるか」ではなく「何をしたいか」と能動的に考え、取り組み姿勢を重視しています。

2025年度臨床研修プログラム

プログラム
最新情報は
コチラ



■臨床研修 週間スケジュール(例)

1年次:診療科目/内科

グループ①:呼吸器内科、脳神経内科

曜日	月	火	水	木	金
午前	病棟・急患対応				呼吸器内科・放射線科カンファレンス
午後	内科カンファレンス	気管支鏡検査・呼吸器内科カンファレンス	脳神経内科カンファレンス	呼吸器内科回診	気管支鏡検査

グループ②:消化器内科、糖尿病・代謝内科

曜日	月	火	水	木	金
午前	腹部エコー検査・消化器内視鏡検査				
午後	内科カンファレンス	病棟・急患対応	HCCカンファレンス	消化器内科・消化器外科カンファレンス	病棟・急患対応

■臨床研修 年間スケジュール(例)

1年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	内科						救急		選択	内科	産婦人科	小児科
場所	熊本労災病院										熊本市民病院 熊本赤十字病院	

2年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	精神科	地域医療	選択						救急	選択		
場所	八代 更生病院 平成病院	小国公立病院 上天草 総合病院	熊本労災病院									

※一般外来4週以上を含む

専門研修 プログラム

当院では新専門医制度に対応し、連携施設として複数のプログラムに参加しています。



研修医募集要項

応募資格	2025年度医師国家資格受験予定者
試験内容	面接試験
給料	1年次 月額/350,000円 2年次 月額/370,000円
諸手当	時間外手当、休日手当、一次金(支給実績あり)等
年次有給休暇	有(1年次:12日、2年次13日)年次有給休暇20日 夏季休暇、年末年始休暇
宿舎	有(1K~1LDK)
加入する保険等	各種社会保険、厚生年金基金、財形貯蓄
医師賠償責任保険	病院加入有、個人加入任意(個人負担)
当直回数	2回/月程度

所在地 〒866-8533 熊本県八代市竹原町1670
担当部署 総務課/原山、森田
TEL 0965-33-4151
FAX 0965-32-4405
E-mail shomu@kumamotoh.johas.go.jp
URL www.kumamotoh.johas.go.jp

募集要項の最新情報は
ホームページをご覧ください。
kumamotoh.johas.go.jp/
recruit/r-resident/





救急・がん・予防医療の3本柱で診療を行っている地域医療支援病院

独立行政法人地域
医療機能推進機構

人吉医療センター



標榜科
内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、脳神経内科、糖尿病・代謝・内分泌科、血液内科、皮膚科、小児科、外科、呼吸器外科、血管外科、乳腺外科、消化器外科、泌尿器科、脳神経外科、整形外科、形成外科、眼科、耳鼻いんこう科、産婦人科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科、救急科、歯科口腔外科、総合診療科、腫瘍内科、放射線治療科

2024年度現在の医師数(12月1日現在)

医師数 DOCTOR	48名	研修医数 INTERN	11名
指導医数 ADVISOR	25名	病床数 SICKBED	252床

2023年度実績

1日平均 外来患者数	322.7人
1日平均 入院患者数	200.6人
年間 手術件数	2,724件

自分で考え行動できる環境で総合診療能力を高める

当院は、特に救急診療において人吉球磨地域のほとんどの救急患者を受け入れるなど、幅広い診療を行っています。この環境の中で研修医が自分で考え、行動することを重視しており、基本的な臨床能力を着実に高めることができます。また、総合診療医の養成にも力を入れており、患者を全人的に診るために必要な臨床能力を身につけ、プライマリ・ケアに対応できる医師を育成しています。「この病院で研修をしてみたい」と思っていたような環境づくりを目指し、全力で支援します。

当院の初期臨床研修を支える3つの柱

- 確かな指導実績／当院はこれまでに100人を超える初期臨床研修医を輩出しており、その経験を活かして質の高い指導を行っています。経験豊富な指導医が研修医一人ひとりの成長を支えます。
- 研修医主体の研修／研修医全員が相談して翌月の研修内容を決定する自由度の高いシステムを採用しています。また、2年目の研修医が1年目を指導する「屋根瓦方式」を取り入れ、互いに学び合いながら成長できる環境を提供しています。さらに、病院全体で研修医を育てる仕組みとして、モーニングレクチャーや実習を通じて多職種との視点を学ぶ機会を設けています。
- 手厚い福利厚生／研修医が安心して働けるような十分な報酬や住居や休暇制度など、生活面でのサポートも充実しています。

指導医からのコメント

人吉
医療センター
副院長

藏重 淳二

Junji Kurashige



人吉医療センターは、豊富な診療経験と充実した支援体制のもとで、臨床医としての第一歩を全力でサポートします。幅広い診療経験を通じて、医師としての基礎と総合診療能力を培い、次のステージへ羽ばたいてください。
皆様の挑戦をお待ちしています。

2025年度臨床研修プログラム

プログラム
最新情報は
コチラ



臨床研修 週間スケジュール

1・2年次：診療科目／全科

曜日	月	火	水	木	金
午前	研修分野(診療科)ごとに、各指導医が外来診療、検査、手術状況等を確認しながら決定します。				
午後					

臨床研修 年間スケジュール

1年次

週	1～5週	6～10週	11～15週	16～20週	21～25週	26～30週	31～35週	36～40週	41～45週	46～50週	51～52週
分野	救急科	内科 救急当番※1	麻酔科 救急当番※1	産婦人科 救急当番※1	小児科 救急当番※1	外科 救急当番※1	内科 救急当番※1				
場所	人吉医療センター(産婦人科は愛甲産婦人科にて研修)										

2年次

週	53～55週	56～60週	61～65週	66～104週
分野	内科 救急当番※1	精神科	地域医療	選択科目※3 救急当番※1
場所	人吉医療センター	人吉こころのホスピタル	協力施設※2	精神科：人吉こころのホスピタル 地域保健：リバーサイド御薬園 上記以外の選択科目：人吉医療センター 地域医療：協力施設

※1 救急当番／月4～5回程度(うち20回を平行研修とする)

※2 地域医療協力施設／愛生記念病院(人吉市)、五木村診療所(五木村)、球磨郡公立多良木病院(多良木町)、朝戸医院(鹿児島県沖永良部島)、南海医療センター(大分県)、湯布院病院(大分県)、天草中央総合病院(熊本県)、上天草総合病院(熊本県)、そよう病院(熊本県)小国公立病院(熊本県)

※3 選択科目／内、外、麻酔、救急、小児、地域医療、産婦、精神、整形、脳外、泌尿器、眼、耳鼻、放射線、病理診断、総合診療、地域保健、在宅診療

専門研修
プログラム

JCHO人吉医療センター総合診療医専門医研修プログラムと日本プライマリ・ケア連合学会認定人吉家庭医療プログラムを実施しています。(詳細は当院ホームページをご確認ください。)



研修医募集要項

応募資格 ①2026年2月実施医師国家試験合格見込者
②医師臨床研修マッチングに参加する者

応募締切 未定

試験日程 随時

試験内容 書類審査、面接試験

給料 1年次／年6,000,000円程度(賞与含む)
2年次／年6,500,000円程度(賞与含む)

諸手当 時間外休日 他

年次有給休暇 有

宿舎 (有,4,500円～)※駐車場代別

加入する保険等 健康保険、厚生年金、労働災害補償保険、雇用保険

医師賠償責任保険 病院加入有、個人加入任意

当直回数 月5回程度

所在地 〒868-8555 熊本県人吉市老神町35番地

担当部署 総務企画課

TEL 0966-22-2191(代表)

FAX 0966-24-2116

E-mail main@hitoyoshi.jcho.go.jp

URL hitoyoshi.jcho.go.jp

募集要項の最新情報は
ホームページをご覧ください。
[https://hitoyoshi.jcho.go.jp/recruit/](https://hitoyoshi.jcho.go.jp/recruit/medical-intern/)
[medical-intern/](https://hitoyoshi.jcho.go.jp/recruit/medical-intern/)臨床研修医/#yoko





熊本県芦北医療圏と鹿児島県北薩地域を診療圏とする地域の中核的急性期病院

国保 水俣市立総合医療センター



標榜科

呼吸器内科、循環器内科、代謝内科、小児科、外科、整形外科、産婦人科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻いんこう科、消化器内科、放射線科、脳神経外科、脳神経内科、麻酔科、リハビリテーション科、歯科口腔外科、腎臓内科

2024年度現在の医師数

医師数
DOCTOR

44名

指導医数
ADVISOR

15名

2023年度実績

1日平均
外来患者数

631人

1日平均
入院患者数

222人

年間
手術件数

1,662件

研修医数
INTERN

4名

病床数
SICKBED

361床

チーム医療・地域医療を実戦で学ぶ

当院は熊本県の南端・水俣市にある急性期中核病院です。熊本県南部と鹿児島県北薩地域を診療圏として24時間体制で救急医療を行っており、山間部附属診療所でのへき地診療も行っています。また、2019年度よりHCUが開設されており、より高度な治療が行えるようになりました。がん拠点病院や各種学会修練施設として専門性の高い治療から、プライマリケアまで幅広い症例を学ぶことができ、医師としての適性とキャリアパスを考えることができる環境です。

大規模病院と地方の中核病院を経験でき、マンツーマンできめ細やかな指導が特徴

当院は、鹿児島県との県境に近い熊本県南に位置し、熊本県芦北医療圏と鹿児島県北薩地域を診療圏とする、地域の中核的急性期病院です。平成16年度から熊本大学病院の協力型臨床研修病院として研修医の受け入れを行ってきた実績が認められ、平成27年度から新たに基幹型臨床研修病院としてスタートしました。受入人数としては大規模病院に及びませんが、少人数だからこそマンツーマンできめ細やかな指導が受けられ、実技も十分習得できるという利点があります。当院の研修プログラムの最大の特徴は、2年間の研修期間中、当院と、協力型臨床研修病院である熊本大学病院、国立病院機構熊本医療センターの3病院をローテーションする点です。熊本市内の大規模病院と地方の中核病院を両方経験できるこのプログラムは、救急医療研修が充実し、選択科目についても合計43の診療科(分野)から選択可能となるなど、豊富で幅広い症例を学べる構成となっています。

指導医からのコメント

国保水俣市立
総合医療
センター
院長

阿部 道雄

Michio Abe



臨床研修では若手から中堅の医師が診療科を超えて指導します。患者さんに直接触れ、診療手技を実践的に習得できます。また、入院だけでなくその後の病診連携、外来までの流れを経験し、臨床医として必要な基本的臨床能力を身に付けることを大切にしています。一緒に地域医療を頑張りましょう！

2025年度臨床研修プログラム

プログラム
最新情報は
コチラ



■臨床研修 週間スケジュール

1年次：診療科目／内科(消化器内科)の例

曜日	月	火	水	木	金
午前	内視鏡	超音波	外来	病棟	病棟
午後	病棟	内視鏡	病棟症例 カンファレンス	病棟	病棟

■臨床研修 年間スケジュール

1年次

週	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
分野	内科	外科	内科	産婦人科	小児科	内科	救急						
場所	国保水俣市立総合医療センター											国立病院機構 熊本医療センター (8週以上)	

2年次

週	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～41週	42～44週	45～48週	49～52週
分野	精神科及び選択							選択	内科	地域医療 一般外来	選択		
場所	熊本大学病院(28週以上)							国保水俣市立総合医療センター					

専門研修 プログラム

新専門医制度では、「整形外科」の領域の基幹施設として専門研修プログラムを整備しています。



研修医募集要項

応募資格	医師国家試験(2026年2月実施)受験予定の方
応募締切	詳細は応募連絡先にご確認ください
試験日程	2025年7月～8月に実施予定(詳細は決定次第ホームページに掲載)
試験内容	書類審査、面接
給料(非常勤職員)	1年次 月額／約446,000円 2年次 月額／約456,000円 ※時間外手当は別途支給
諸手当	通勤手当(2km以上) 賞与 1年次 約720,000円 2年次 約1,170,000円
休暇	年次有給休暇、夏季休暇、忌引
宿舎	有
福利厚生	健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険
医師賠償責任保険	病院において加入(個人加入は任意)
当直回数	月2回程度(希望を考慮)

所在地 〒867-0041熊本県水俣市天神町1丁目2番1号
担当部署 総務課経営・情報企画室
TEL 0966-63-2101(内線584)
FAX 0966-63-1393
E-mail minamata-sic01@ar.wakwak.com
URL minamata-hp.jp/

募集要項の最新情報は
ホームページをご覧ください。
[https://minamata-hp.jp/recruit-index/
recruit01/recruit.html#p03](https://minamata-hp.jp/recruit-index/recruit01/recruit.html#p03)



市民を愛する 市民に愛される 病院へ

荒尾市立 有明医療センター



2024 April

New ward

Grand OPEN!!

OPEN!

標榜科

内科、外科、産婦人科、小児科、整形外科、循環器内科、リハビリテーション科、麻酔科、呼吸器内科、皮膚科、泌尿器科、脳神経外科、脳神経内科、消化器内科、形成外科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、緩和ケア内科、救急科、病理診断科、放射線治療科、画像診断・治療科、眼科、耳鼻咽喉科

2024年度現在の医師数(12.1)



医師数
DOCTOR

56名



研修医数
INTERN

8名



指導医数
ADVISOR

29名



病床数
SICKBED

274※

※病床数274床のうち、一般270床、感染症4床

2023年度実績



1日平均
外来患者数

326人



1日平均
入院患者数

197人



年間
手術件数

1,101件

2024年度グランドオープン 歴史と実績のある救急・高度医療を

当院は荒尾市唯一の急性期病院で、自治体病院として、また、有明地域の中核病院として、市民はもとより有明地域住民の医療の安心と安全、健康の維持増進のため、最新の高度で良質な医療の提供を行っています。救急搬送される患者様はもちろん、ウォークインで来院される救急患者の中にもまれる三次救急の患者を見落とさないことが重要と考え指導を行っています。地域住民に必要とされ、信頼される、そして支えられている“いい病院づくり”に全職員一丸となって励んでいます。

荒尾市唯一の急性期病院として救急医療から専門医療まで研修可能

■目的①一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応できるような基本的な診察能力(態度、技能、知識)を身に付けること。②医学・医療の社会的ニーズを認識しつつ、医師としての人格を涵養し、人間性、社会性にも重点をおいた良質な医療を学ぶこと。

■特徴①地域の中核病院における救急医療研修を通して、幅広い分野における症例を救急専門医の指導のもと数多く経験できることで、基本的な救急処置技術を習得することができます。②癌疾患等の専門性の高い医療を経験することにより医療の可能性と限界を理解し、併せて将来の専門分野の選択にも役立てることができます。③地域の医療機関、診療所、予防医学等の地域医療を経験して、地域に根ざしたプライマリ・ケアを習得することができます。④カンファレンスや臨床病理検討会等に参加することにより、多様な疾病の多面的な捉え方を学ぶことができます。⑤リスクマネジメントや感染対策等の院内会議に参加することにより、患者の安全を第一に考える医療を学ぶことができます。

指導医からのコメント

有明医療センター
副院長
兼 救急科部長
(救急指導医)

松園 幸雅

Yukimasa Matsuzono



当院では二次救急医療機関としてCommon Diseaseから、重症外傷例や敗血症例にも対応。脳卒中・心筋梗塞・急性腹症・多発外傷は24時間体制が整っています。救急疾患の患者さんの初期診療～退院まで全般に携わる研修内容も特徴です。興味のある人はぜひ、見学に来ませんか？熱心な指導医がお待ちしております！



2025年度臨床研修プログラム

プログラム
最新情報は
コチラ



■臨床研修 週間スケジュール

1年次:診察科目／内科

期間	月	火	水	木	金
午前	外来と病棟研修を中心にスケジュールを組みます。また、科の特性により手術、透析、お産等があります。				
午後	※研修医自ら希望を設定できるように調整いたします。				

■臨床研修 年間スケジュール

1年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	救急科			内科						外科		
場所	有明医療センター・ 日本医科大学付属病院(救急救命科)			有明医療センター						有明医療センター		

2年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	麻酔科	産婦人科	精神科	小児科	選択研修					地域医療	選択研修	
場所	有明医療 センター	有明医療 センター・ 協力施設※1	荒尾こころの 郷病院・ 有働病院	有明医療 センター・ 協力施設※2	有明医療センター・協力施設※3 (研修医と打ち合わせの上決定します。)					協力施設 ※4	熊本大学病院を除く 医療機関	

※1 協力施設／大牟田市立病院

※2 協力施設／熊本大学病院・大牟田市立病院、くまもと県北

※3 協力施設／熊本大学病院(呼吸・神内・小児・泌尿・耳鼻)・日本医科大学付属病院(救急救命科)・大牟田市立病院・荒尾こころの郷病院・新生翠病院・有働病院

※4 協力施設／新生翠病院・小国公立病院・阿蘇医療センター・上天草総合病院

専門研修 プログラム

新専門医制度においては、熊本大学病院等の各種領域の協力施設として専門研修プログラムを整備しています。新制度における専門医取得を目指して、3年目以降の進路を考えながら初期臨床研修を進めることができます。



研修医募集要項

応募資格

①医師免許取得者及び第119回医師国家試験合格見込者
②医師臨床研修マッチング参加者

応募締切

2025年8月頃予定(決定次第ホームページに掲載)

試験日程

2025年8月頃予定(決定次第ホームページに掲載)

試験内容

書類審査、筆記試験(小論文)、面接試験

給料

1年次 月額／約560,000円(総支給額)
2年次 月額／約570,000円(総支給額) ※2023年度実績より

諸手当

時間外勤務、住居手当、通勤手当、扶養手当、特殊勤務手当等

その他手当

賞与(年2回 合計約1,800,000円)、退職手当有

年次有給休暇

有(年間20日)、その他特別休暇(忌引、夏季休暇等)有

宿舎

有(一般賃貸物件)、家賃補助8割(最大4万円)、入職時の入居初期費用は全額補助

保険

熊本県市町村職員共済組合

医師賠償責任保険

病院加入有、個人加入任意(個人負担)

当直の回数

2～4回/月

所在地

〒864-0041 熊本県荒尾市荒尾2600番地

担当部署

総務課

T E L

0968-63-1115(内線)510、511

F A X

0968-63-1189

E - m a i l

ar-kensyu@hospital.arao.kumamoto.jp

U R L

www.hospital.arao.kumamoto.jp

募集要項の最新情報は
ホームページをご覧ください。
www.hospital.arao.kumamoto.jp/
recruit/recruit03.html



地域の皆様に安心と信頼を提供する、県北の中核病院へ

地方独立行政法人 くまもと県北病院



標榜科 総合診療科、呼吸器内科、血液内科、感染症内科、腫瘍内科、脳神経内科、循環器内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、消化器内科、小児科、外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、泌尿器科、整形外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、婦人科、麻酔科、放射線科、病理診断科、膠原病・リウマチ科、救急科

2024年度現在の医師数

医師数 DOCTOR	78名	研修医数 INTERN	10名
指導医数 ADVISOR	21名	病床数 SICKBED	402[※]床

※急性期一般312床、回復期45床、地域包括ケア45床

総合診療科がある地域中核病院として急性期から慢性期まで実践可能

当院は、2021年3月1日、公立玉名中央病院と玉名地域保健医療センターが合併し、新玉名駅近くに移転、県北最大の病院に生まれ変わりました。一般病床、回復期病床のみならず、新たに地域包括ケア病棟も加わり全402床の熊本県北地域の中核病院として、急性期から慢性期まで対応できる幅広い医療と、診療を通じた教育病院として急速に発展しています。また、当院は県北地域唯一の熊本大学病院学外教育拠点である「地域医療実践教育玉名拠点」を有し、これまでに8期28名の医師を輩出しております。研修では症例が回ってこない、指導医の多対一ということもなく、教育熱心な指導医を独占でき、効率的に総合診療能力を身に着けることが可能なのも魅力です。

「医師」として、患者を全人的に診ることができる総合診療能力を培うプログラム

当院は有明医療圏、特に玉名市周辺における地域医療を最前線に担っており、診療圏は玉名市以外に県北部を広くカバーしています。患者を疾患単位で捉えるのではなく、人間として、職場・家庭環境に至るまで、病前・病中・病後まで、時間軸で診療を行っています。また、一次・二次救急医療も担っており、地域完結型の救急医療も研修が可能です。医師不足にある地域で研修することは、すなわち、一人の医師が担当できる患者の人数が必然的に多くなるという事です。つまり、研修医が経験すべきcommon diseaseを数多く経験でき、指導体制が整った当院での地域医療研修は、研修医として経験を積むには最適な環境と言えます。主治医として主体的に診療に関わる結果、「自分の患者さん」という意識を持ち易く、責任を持って優しく接し、患者の為、地域の為に貢献する事ができます。患者さん視点の、白衣を着た目の前の「医師」は、循環器内科医でも、整形外科医でも、眼科医でも、精神科医でもなく、「医師」なのです。その気持ちに応えられる「医師」を一緒に目指しませんか。

2023年度実績

1日平均 外来患者数	399.9人
1日平均 入院患者数	296.7人
年間 手術件数	2,117件

指導医からのコメント

プログラム責任者
小児科部長

宮城 俊彦
Toshihiko Miyagi



27の診療科と21人の指導医、地域の拠点病院としてcommonな疾患をはじめ急性期～専門医療まで様々な症例が学べます。主体性を大切にした手厚い指導の下、思う存分研修してください。指導医との定期的な振り返り会、専用のくつろぎ研修医室、充実した住居手当等サポート体制もばっちり。ちょっと疲れたらラーメン食べて温泉もあります。医師としての第一歩を、ここ玉名の地で始めませんか？お待ちしております。

2025年度臨床研修プログラム

プログラム
最新情報は
コチラ



■臨床研修 年間スケジュール

1年次

週	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
分野	総合診療科			呼吸器 内科	糖尿病・ 内分泌科	麻酔科	消化器 内科	外科	小児科	救急科			外来研修
場所	くまもと県北病院												

2年次

週	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
分野	地域	選択研修				産婦人科	精神科	選択研修					
場所	くまもと県北病院・協力型病院※1・臨床研修協力施設※2												

※1 協力型病院／熊本大学病院、熊本医療センター、熊本中央病院、和水町立病院、済生会熊本病院、熊本赤十字病院、荒尾市立有明医療センター、熊本市民病院

※2 臨床研修協力施設／御所浦診療所(★)、安成医院、上天草総合病院(★)、春日クリニック、福田病院、向陽台病院、荒尾こころの郷病院、玉名病院、松本内科・眼科(★)、熊本機能病院

- 一般外来(4週)原則、総合診療科外来または小児科外来で行う
- 全研修期間(104週)内、他施設での研修期間を24週までとする。
- 臨床研修協力施設での研修期間は12週が上限であること。(★施設については12週に含めない)

専門研修プログラム

新専門医制度では、連携施設として複数のプログラムに参加しています。



研修医募集要項

応募資格 ①医師免許取得者及び医師国家試験合格見込者
②医師臨床研修マッチングに参加する者

応募締切 詳細はホームページをご確認ください

試験日程 2025年8月頃(決定次第ホームページに掲載)

試験内容 書類審査、面接試験

給料 1年次／月額360,000円(賞与無)
2年次／月額400,000円(賞与無)

諸手当 住宅手当、通勤手当、時間外手当

年次有給休暇 1年次／10日 2年次／11日

宿舎 なし。住宅手当を上限6万円まで支給。

加入する保険等 熊本県市町村共済組合、地方公務員災害補償制度、厚生年金保険、雇用保険

医師賠償責任保険 有り

当直回数 4回／月程度(救急研修時)

所在地 〒865-0005 熊本県玉名市玉名550

担当部署 総務課 臨床研修事務

TEL 0968-73-5000

FAX 0968-73-2867

E-mail kensyu@kumakenhoku-hp.jp

URL https://kumakenhoku-hp.jp/

募集要項の最新情報は
ホームページをご覧ください。
https://kumakenhoku-hp.jp
/clinical/overview/



「総合診療医」を育成する天草医療圏の中規模急性期病院

天草郡市医師会立 天草地域医療センター



標榜科

内科、循環器内科、消化器内科、代謝内科、呼吸器内科、脳神経外科、外科、整形外科、泌尿器科、小児科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、総合診療科、神経内科、リウマチ科

2024年度現在の医師数

 医師数 DOCTOR	36名	 研修医数 INTERN	2名
 指導医数 ADVISOR	15名	 病床数 SICKBED	210床

2023年度実績

 1日平均 外来患者数	231.0人
 1日平均 入院患者数	179.2人
 年間 手術件数	1,360件

2019年度より総合診療科増設 診療科の垣根を越えた医療を実践

当院は、天草医療圏の中核病院であり、熊本県第1号の地域医療支援病院、小児救急医療拠点病院、がん診療連携拠点病院、脳卒中急性期病院、急性心筋梗塞拠点病院として数多くの救急患者及び紹介患者を受け入れています。垣根の低い医局であり、診療科の枠を越えて多職種を含めた医療スタッフ全員で診療するチーム医療を実践しています。2019年度より総合診療科が増設され、さらに総合的な医療に力を入れています。

2016年度から基幹型臨床研修病院へ 全診療科一体の「総合診療医」育成の場

当院では、CT、MRI、血管造影装置など世界最高水準の医療機器を導入し、平成26年からは当院を中心としてIT医療連携「あまくさメディカルネット」が稼働しており、機器の共同利用・画像・診療情報を共有化した病病・病診連携を行い、地域全体での医療連携を高めた地域完結型医療を行っています。臨床研修制度スタート時から熊本大学病院の協力型臨床研修病院として研修医を受け入れ、平成28年度から新たに基幹型臨床研修病院となりました。研修プログラムは、厚生労働省が定めた臨床研修到達目標達成を重視しており、当院を中心として協力型研修病院である熊本大学病院と天草医療圏内の研修病院との密接な連携により、豊富で幅広い分野の疾患を経験できます。当院の臨床研修の特徴としては、研修医を単独診療科のみではなく全診療科一体となって教育することを基本方針としており、その意味では「総合診療医」育成としての初期臨床教育の場として有益とされます。

指導医からのコメント

天草地域
医療センター
外科・
副院長

高田 登
Noboru Takata



当院では総合診療医育成に向け、全診療科一体となって教育します。天草医療圏ではIT医療連携「あまくさメディカルネット」などによる地域完結型医療も経験できます。超高齢社会の中、地域中核病院での初期研修は、貴重な経験になるはずです。当院で意欲的に学び、将来の医師像を描いてください。

2025年度臨床研修プログラム

プログラム
最新情報は
コチラ



■臨床研修 週間スケジュール

1・2年次：診療科目／全科

曜日	月	火	水	木	金
午前	研修分野(診療科)ごとに、各指導医が外来診察、検査、手術状況等を確認しながら決定します。				
午後					

■臨床研修 年間スケジュール

1年次

週	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週	
分野	内科							救急科			外科	小児科	産婦人科	精神科
場所	天草地域医療センター (産婦人科は天草中央総合病院、精神科は天草病院または酒井病院にて研修)													

2年次

週	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
分野	選択												地域医療
場所	天草地域医療センターまたは熊本大学病院												天草地域 医療センター または 河浦病院

専門研修 プログラム

新専門医制度では、連携施設として複数のプログラムに参加しています。



研修医募集要項

応募資格	医師国家試験合格見込の方
応募締切	2025年7月末
試験日程	2025年8月
試験内容	書類審査、面接試験
給料	1年次 月額／約430,000円 2年次 月額／約470,000円
諸手当	日・当直手当別途支給 賞与 1年次 約640,000円(前年度実績) 2年次 約640,000円(前年度実績)
年次有給休暇	有
宿舎	有(アパート借り上げ、自己負担なし)
保険	健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険
医師賠償責任保険	有(病院加入)、個人加入任意
当直回数	月2回程度

所在地	〒863-0046 熊本県天草市亀場町食場854-1
担当部署	総務課人事係
T E L	0969-24-4111
F A X	0969-23-4086
E - m a i l	soumu@amed.jp
U R L	www.amed.jp

募集要項の最新情報は
ホームページをご覧ください。
www.amed.jp/mc/clinical_training.php



協力型臨床研修病院、研修協力施設一覧

熊本県臨床研修病院	協力型臨床研修病院	研修協力施設
医療法人創起会 くまもと森都総合病院	独立行政法人労働者健康安全機構熊本労災病院 一般財団法人杏仁会くまもと青明病院 山都町包括医療センターそよう病院 荒尾市立有明医療センター 一般社団法人熊本市医師会熊本地域医療センター 医療法人社団愛育会福田病院	医療法人聖粒会慈恵病院
熊本市立 熊本市民病院	社会医療法人ましき会益城病院 特定医療法人佐藤会弓削病院 上天草市立上天草総合病院 一般社団法人天草郡市医師会立天草地域医療センター	山都町包括医療センターそよう病院
熊本赤十字病院	熊本県立こころの医療センター 一般財団法人杏仁会くまもと青明病院 特定医療法人富尾会桜が丘病院 特定医療法人佐藤会弓削病院 小国町外ヶヶ町公立病院組合小国公立病院 上天草市立上天草総合病院 国民健康保険和水町立病院 阿蘇医療センター	医療法人仁木会ニキハーティーホスピタル 国民健康保険天草市立河浦病院 日本赤十字社熊本健康管理センター 山都町包括医療センターそよう病院
国立大学法人熊本大学 熊本大学病院	独立行政法人国立病院機構熊本医療センター 熊本市立熊本市民病院 熊本赤十字病院 社会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院 国家公務員共済組合連合会熊本中央病院 一般社団法人熊本市医師会熊本地域医療センター 医療法人創起会くまもと森都総合病院 独立行政法人国立病院機構熊本南病院 荒尾市立有明医療センター 地方独立行政法人くまもと県北病院 山鹿市民医療センター 独立行政法人国立病院機構熊本再春医療センター 独立行政法人労働者健康安全機構熊本労災病院 独立行政法人地域医療機能推進機構熊本総合病院 国保水俣市立総合医療センター 独立行政法人地域医療機能推進機構人吉医療センター 球磨郡公立多良木病院 一般社団法人天草郡市医師会立天草地域医療センター 独立行政法人地域医療機能推進機構天草中央総合病院 一般社団法人福岡県社会保険医療協会社会保険大牟田天領病院 特定医療法人北九州病院北九州総合病院 医療法人徳洲会福岡徳洲会病院 国家公務員共済組合連合会新別府病院 宮崎県立延岡病院 独立行政法人国立病院機構都城医療センター 独立行政法人地域医療機能推進機構下関医療センター 熊本市立植木病院 山都町包括医療センターそよう病院 社会医療法人黎明会宇城総合病院 国民健康保険和水町立病院 医療法人社団川口会川口病院 阿蘇医療センター 小国町外ヶヶ町公立病院組合小国公立病院 医療法人社団坂梨会阿蘇温泉病院 特定医療法人高森会阿蘇やまなみ病院 上天草市立上天草総合病院 高千穂町国民健康保険病院 五ヶ瀬町国民健康保険病院 医療法人社団愛育会福田病院 医療法人社団寿量会熊本機能病院 医療法人金澤会青磁野リハビリテーション病院 社会医療法人社団高野会大腸肛門病センター高野病院 一般財団法人杏仁会くまもと青明病院 特定医療法人富尾会桜が丘病院 社会医療法人ましき会益城病院 医療法人社団松本会希望ヶ丘病院 独立行政法人国立病院機構菊池病院 医療法人有働会菊池有働病院 社会医療法人芳和会菊陽病院 医療法人社団淡路平会会平成病院 医療法人山田会八代更生病院 医療法人正仁会みずほ病院 人吉こころのホスピタル 医療法人天草病院 医療法人啓正会酒井病院 医療法人建悠会吉田病院 医療法人森和会森病院 医療法人財団鶴友会鶴田病院 医療法人財団聖十字会西日本病院 一般社団法人菊池郡市医師会立病院 荒尾こころの郷病院	一般社団法人天草郡市医師会立天草地域健診センター 医療法人社団松下会あけぼのクリニック 熊本ホームケアクリニック 医療法人ソレイユひまわり在宅クリニック 宮本内科クリニック たがみクリニック 天草市立御所浦診療所 地域医療機能推進機構熊本総合病院附属クリニック 国民健康保険天草市立河浦病院
国家公務員共済組合連合会 熊本中央病院	社会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院 医療法人社団愛育会福田病院 社会医療法人ましき会益城病院 医療法人再生会くまもと心療病院 特定医療法人佐藤会弓削病院 一般財団法人杏仁会くまもと青明病院 独立行政法人労働者健康安全機構熊本労災病院 地方独立行政法人くまもと県北病院 球磨郡公立多良木病院 阿蘇医療センター 国家公務員共済組合連合会 斗南病院 国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院 国家公務員共済組合連合会 浜の町病院	医療法人社団メディカルアクセス沢田内科医院 医療法人社団藤栄会すえぶじ医院 天草市立牛深市民病院 熊本市保健所 熊本県御船保健所 医療法人社団藤栄会介護老人保健施設湧心苑 医療法人博光会介護老人保健施設ぼたん園 医療法人社団東陽会介護老人保健施設田迎ケアセンター 特定医療法人谷田会谷田病院 ひまわり在宅クリニック 医療法人社団順幸会 阿蘇立野病院

熊本県臨床研修病院	協力型臨床研修病院	研修協力施設
社会福祉法人恩賜財団 済生会熊本病院	独立行政法人地域医療機能推進機構天草中央総合病院 一般社団法人天草郡市医師会立天草地域医療センター 上天草市立上天草総合病院 国保水俣市立総合医療センター 独立行政法人地域医療機能推進機構人吉医療センター 球磨郡公立多良木病院 独立行政法人労働者健康安全機構熊本労災病院 独立行政法人地域医療機能推進機構熊本総合病院 熊本大学病院(糖尿病・代謝・内分泌内科) 熊本赤十字病院 国家公務員共済組合連合会熊本中央病院 一般財団法人杏仁会くまもと青明病院 医療法人敬愛会城山病院 社会医療法人ましき会益城病院 特定医療法人佐藤会弓削病院 社会福祉法人恩賜財団済生会東京都済生会中央病院 社会福祉法人恩賜財団済生会横浜市東部病院 社会福祉法人恩賜財団済生会福岡総合病院 社会福祉法人恩賜財団済生会川内病院 宮崎県立延岡病院	社会福祉法人恩賜財団済生会みすみ病院 特定医療法人谷田会 谷田病院 医療法人社団順幸会 阿蘇立野病院 医療法人桜十字桜十字病院 医療法人社団松野皮ふ科・形成外科 医療法人 幸会なかの耳鼻咽喉科アレルギー科クリニック 唐木クリニック 土井医院 医療法人社団世安会 くまもと乳癌・胃腸外科病院 熊本市保健所 熊本県宇城保健所 五木村診療所(人吉医療センター) 教良木診療所(上天草総合病院) 医療法人社団 東陽会介護老人保健施設 田迎ケアセンター 医療法人 博光会介護老人保健施設 ぼたん園
独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター	荒尾市立有明医療センター 地方独立行政法人くまもと県北病院 山鹿市民医療センター 熊本市立植木病院 独立行政法人国立病院機構熊本南病院 菊池郡市医師会立病院 阿蘇医療センター 小国公立病院 山都町包括医療センターそよう病院 国保水俣市立総合医療センター	医療法人社団松下会あけぼのクリニック 天草市立牛深市民病院 医療法人社団清心会春日クリニック 独立行政法人国立病院機構菊池病院 新町いえむらクリニック 医療法人聖粒会慈恵病院 医療法人日隈会日隈病院 医療法人社団松本外科医院 医療法人社団愛育会福田病院
独立行政法人地域医療機能推進機構 熊本総合病院	国立大学法人熊本大学熊本大学病院 国保水俣市立総合医療センター	独立行政法人地域医療機能推進機構熊本総合病院附属クリニック 独立行政法人地域医療機能推進機構南海医療センター 医療法人カジオ会八代病院シーサイドこころケアステーション
独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院	医療法人社団平成会平成病院 小国町外ヶヶ町公立病院組合小国公立病院 上天草市立上天草総合病院 医療法人山田会八代更生病院 熊本赤十字病院 熊本市立熊本市民病院	独立行政法人労働者健康安全機構横浜労災病院 国家公務員共済組合連合会熊本中央病院 医療法人創起会くまもと森都総合病院 医療法人社団八代愛育会八代レディースクリニック 医療法人聖粒会慈恵病院
独立行政法人地域医療機能推進機構 人吉医療センター	医療法人精翠会人吉こころのホスピタル	愛甲産婦人科医院 医療法人社団健成会介護老人保健施設リバーサイド御葉園 五木村診療所 愛生記念病院 球磨郡公立多良木病院 医療法人朝戸医院 独立行政法人地域医療機能推進機構湯布院病院 独立行政法人地域医療機能推進機構天草中央総合病院 上天草市立上天草総合病院 山都町包括医療センターそよう病院 小国郷公立病院組合小国公立病院 独立行政法人地域医療機能推進機構南海医療センター
国保水俣市立総合医療センター	国立大学法人熊本大学熊本大学病院 独立行政法人国立病院機構熊本医療センター	竹本医院
荒尾市立 有明医療センター	国立大学法人熊本大学熊本大学病院 医療法人有働会有働病院(精神科) 地方独立行政法人大牟田市立病院 医療法人洗心会荒尾こころの郷病院 一般社団法人福岡県社会保険医療協会社会保険大牟田天領病院 日本医科大学付属病院 小国町外ヶヶ町公立病院組合小国公立病院 阿蘇医療センター 上天草市立上天草総合病院 くまもと県北病院	特定医療法人杏林会新生翠病院(地域医療)
地方独立行政法人 くまもと県北病院	社会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院 国民健康保険和水町立病院 国家公務員共済組合連合会熊本中央病院 国立大学法人熊本大学熊本大学病院 熊本赤十字病院 独立行政法人国立病院機構熊本医療センター 荒尾市立有明医療センター 熊本市立熊本市民病院	医療法人木生会安成医院 国民健康保険天草市立御所浦診療所 上天草市立上天草総合病院 医療法人社団愛育会福田病院 医療法人社団清心会春日クリニック 医療法人横田会向陽台病院 医療法人洗心会荒尾こころの郷病院 医療法人社団寿量会熊本機能病院 医療法人信愛会玉名病院 医療法人社団孔和会松本内科・眼科
一般社団法人天草郡市医師会立 天草地域医療センター	国立大学法人熊本大学熊本大学病院 独立行政法人地域医療機能推進機構天草中央総合病院 医療法人天草病院 医療法人啓正会酒井病院	天草地域健診センター 国民健康保険天草市立河浦病院

01



02



03



04



05



06



07



08



09



10



11



12



13



14



熊本県健康福祉部 健康局 医療政策課

〒862-8570 熊本県熊本市中央区水前寺6-18-1

Tel / 096-333-2204

Fax / 096-385-1754

E-mail / iryoseisaku@pref.kumamoto.lg.jp